# ウ 展示品目の選定

上記、展示検討委員会の助言を参考に実行委 員会において決定した。

また、展示品は次の4つのコーナーに分けて展示した。

- (ア) 大交易時代「現在とのオーバーラップ」
- (イ) 海外移民「移民地での暮らし…そして、2世へ」
- (ウ) 3世・4世「オキナワンスピリットと現在」
- (工) 未来へ「沖縄と世界」

# 展示品リスト

コーナー	NO.1	展 示 品	借 受 先
大交易時代		歴代王統系譜図 (第二尚氏王統)	
		中継貿易の図	
		進貢船の図	株式会社 明拓
		バジル・ホールを見送る大琉球の人々	株式会社 明拓
海外移民	1	沖縄移民の百年史	沖縄県立博物館
	2	沖縄の移民	沖縄県立博物館
	3	移民を生んだ歴史的背景	沖縄県立博物館
	4	移民の父・當山久三	沖縄県立博物館
	5	當山久三家族写真	沖縄県立博物館
	6	沖縄県の移民地政策	沖縄県立博物館
	7	移民地でのくらし	沖縄県立博物館
	8	ハワイ・北米地域	沖縄県立博物館
	9	チャイナ号	金武町教育委員会所蔵
	10	第一回移民募集記事	沖縄県公文書館所蔵
	11	ハワイ移民旅券	沖縄県公文書館所蔵
	12	移民旅券の変遷	金武町教育委員会所蔵
	13	ダバオの麻製造風景	金武町教育委員会所蔵
	14	ハワイのさとうきびプランテーション労働	沖縄県立博物館
	15	ボストントランク	金武町教育委員会所蔵
	16	木綿製封筒	金武町教育委員会所蔵
	17	帰化受験者の心得	金武町教育委員会所蔵
	18	第一読本	金武町教育委員会所蔵
	19	金武尋常小学校校舎	沖縄県立博物館
	20	移民に生きる	沖縄県公文書館所蔵
	21	比嘉太郎氏着用軍服	沖縄県公文書館所蔵
	22	移民先からの手助け	沖縄県立博物館
	23	琉球政府の移民政策	沖縄県立博物館
	24	移民先から送られてきた物資	沖縄県立博物館
	25	パンチボールで眠る沖縄県人2世	沖縄県立博物館
	26	アメリカ	沖縄県立博物館
	27	移民地(写真)	西原町教育委員会所蔵
	28	カナダ	沖縄県立博物館
	29	移民促進関係書類	沖縄県公文書館所蔵
	30	中南米	沖縄県立博物館
	31	ブラジル	沖縄県立博物館
	32	南米移住国移住地地図	沖縄県公文書館所蔵
	33	レコード	金武町教育委員会所蔵
	34	西日辞典	金武町教育委員会所蔵
	35	南米移民への道	沖縄県公文書館所藏
	33	田不移以、公思	The same of the sa

海外移民	36	宜野座岩松日記 (ブラジル)	金武町教育委員会所蔵
	37	ブラジルの沖縄すもう	金武町教育委員会所蔵
Ī	38	ペルー	沖縄県立博物館
	39	明治時代の渡航証明書(ペルー)	金武町教育委員会所蔵
İ	40	日本語教科書(ペルー)	金武町教育委員会所蔵
	41	金城次郎日記	沖縄県教育委員会所蔵
	42	回議書	沖縄県公文書館所蔵
	43	ボリビア	株沖縄県立博物館
	44	ボリビア移住周辺地図	沖縄県公文書館所蔵
	45	ボリビア第一陣移民名簿	沖縄県公文書館所蔵
	46	ポリビアで牧場を経営する	沖縄県公文書館所蔵
	47	ボリビア第一移民地陸稲の種まき	沖縄県公文書館所蔵
	48	コロニアオキナワの看板	金武町教育委員会所蔵
	49	ボリビアのこどもたち	金武町教育委員会所蔵
	50	アルゼンチン	沖縄県立博物館
	51	芭蕉の着物	金武町教育委員会所蔵
	52	アルゼンチン移民先の養豚業	沖縄県立博物館
	53	メキシコ	沖縄県立博物館
	54	キューバ	沖縄県立博物館
	55	戦前の沖縄の風景	沖縄県立博物館
	56	國語讚本	沖縄カナダ協会
	57	沖縄救援連盟議事録	沖縄カナダ協会
	58	沖縄救援連盟スタンプ	沖縄カナダ協会
	59	移民地写真(8点)	沖縄カナダ協会
	60	曾報	沖縄カナダ協会
	61	在外五十有年後ヲ顧リミテ(山入端万栄)	名護市市史編纂室
	62	小橋川秀男・絵画(7点)	沖縄県文化環境部文化振興課
	63	陶芸 (6点)	糸数ホルへ

# 映像上映作品/世界のウチナーンチュ紀行(OTV制作)

	タイトル	
1999年	第27回	音楽の都プラハに生きる~仲地牧子~
	第28回	ファッションは地中海の陽光とともに~宮城龍美~
	第29回	ベネズエラに夢を馳せた男(前編)~石川新助~
	第30回	ベネズエラに夢を馳せた男(後編)~石川新助~
2000年	第39回	ハワイ・沖縄音楽の神童と呼ばれた男~グラント・村田~
	第40回	マウイの大自然をシルクデザインの世界に~エレイン・儀間
	第41回	ガーデンアイランドのオキナワ・ピッグファーマー~マモル・金城~
	第42回	ハワイ島・地域とともに親子二代の州議員~ヨシト・高嶺~
	第43回	ホノルル・カパフル通りのウチナーレストラン~玉寄朝勝~
	第44回	コーヒーカントリーのウチナーンチュ~タケオ・長嶺~
	第45回	キューバ・ハバナに結ぶ肉親の絆~糸数宗一~
	第46回	キューバ・離島に生きるウチナーンチュの末えい~チョマツ・津波古
	第47回	キューバ・シエラ・マエストロの山並みを越えて~チエコ・玉城
	第48回	戦後移民がつくったブエノスのゴルフ場~山城広美~
	第49回	アンデスの麓・カタマルカ二人だけのウチナーンチュ~宮城盛実
	第50回	パンパを越えた沖縄県人~神谷繁信~

#### (9) ワールドビジネスフェア

#### ア 実施日時

平成13年11月1日(木)~4日(日) 午前10時~午後9時

#### イ 趣旨

海外及び県内外で活躍しているウチナーン チュビジネスマンが一同に会し、ワールドワイドなビジネス交流を促進するとともに、県 内企業の海外展開を図り、本県の対外経済交流の振興に資することを目的に実施する。

#### ウ 会場

宜野湾市立体育館

#### 工 主催

第3回世界のウチナーンチュ大会実行委 員会

#### オ 共催

琉球新報社

#### 力 特別協力

WUBインターナショナル、WUB沖縄

# + 後援

内閣府、外務省、国際協力事業団、国際交流 基金、(財) 海外日系人協会、(社) 日本外交協会、 関係国大使館、在沖米国総領事館、沖縄総合通 信事務所、琉球放送(株)、沖縄テレビ放送(株)、 琉球朝日放送(株)、NHK沖縄放送局(株)、 沖縄タイムス(株)、(株) エフエム沖縄、(株) ラジオ沖縄、宮古テレビ(株)、(株) 宮古毎日 新聞社(株) 八重山毎日新聞、宮古新報(株)、 (社) 沖縄工業連合会、那覇商工会議所、 FROM沖縄推進機構、日本貿易振興会沖縄貿 易情報センター、沖縄県商工会連合会、(社) 沖縄県貿易協会、在沖米国商工会議所、 (順不同)

#### ク 協賛

各市町村、各企業及び団体

#### ケ 内容

出展:マルチメディア・IT関連企業、 物産販売、流通企業33社 WUB (海外、県内) 31社



#### (ア) インターネットコーナー

最新の器機の展示と体験会を行った。

#### (イ) WUB世界大会東京2001からの報告

東京大会の状況を重田辰弥WUB東京会長が 報告した。

#### (ウ) ビジネスプレゼンテーション

講演者:上地 哲氏 (デジタルあじまぁ代 表取締役社長)

「ITを活用した沖縄の物産販売」について 講演。

講演者:渡口 義明氏(沖縄県ファイリング システム事業協同組合理事長)

「トグチファイリングシステム」の考案と商 品の紹介がされた。



講演者: 渕辺 美紀氏 ((株)ビジネスランド代表取締役社長)

「沖縄フィルムオフィス設立に向けて」に ついて講演。

# (エ) 国際テレビ会議

# a 第1部テーマ: 「沖縄の平和の絆」若者へ、世界へ

ブラジル・サンパウロ及びアメリカ・ロサンゼルスと沖縄をISDN回線で結び、稲嶺惠一沖縄県知事とジュニアスタディツアー参加者の子供等により参加の感想等が話し合われた。



#### b 第2部テーマ:

「世界のウチナーンチュ・ネットワークビジネス新世紀へ」ITを活用した沖縄ビジネスの展開とWUBのこれからの役割

牧志泰三WUB沖縄会長とロサンゼルス、 サンパウロ在のWUB会員との間で、現在の ビジネス状況や今後の活動等が話し合われた。



#### (オ) ITフォーラム

#### a テーマ:

「さあ始めよう!沖縄ITビジネス〜 WWW時代のネットワーク戦略」

#### b コーディネーター

前泊 博盛氏 (九州大学大学院助教授)

#### c パネリスト

儀間 朝昭氏 (沖縄県企画開発部情報政策室室長) 呉屋 守將氏 (WUBインターナショナル会長) 上地 哲氏 (デジタルあじまぁ代表取締役社長) 鈴木 邦治氏 (名護市IT推進室室長) 大寺 廣幸氏 (沖縄総合通信事務所所長)

ワールドビジネスの戦略について各分野で 活躍されているキーマンの意見交換がなさ れた。



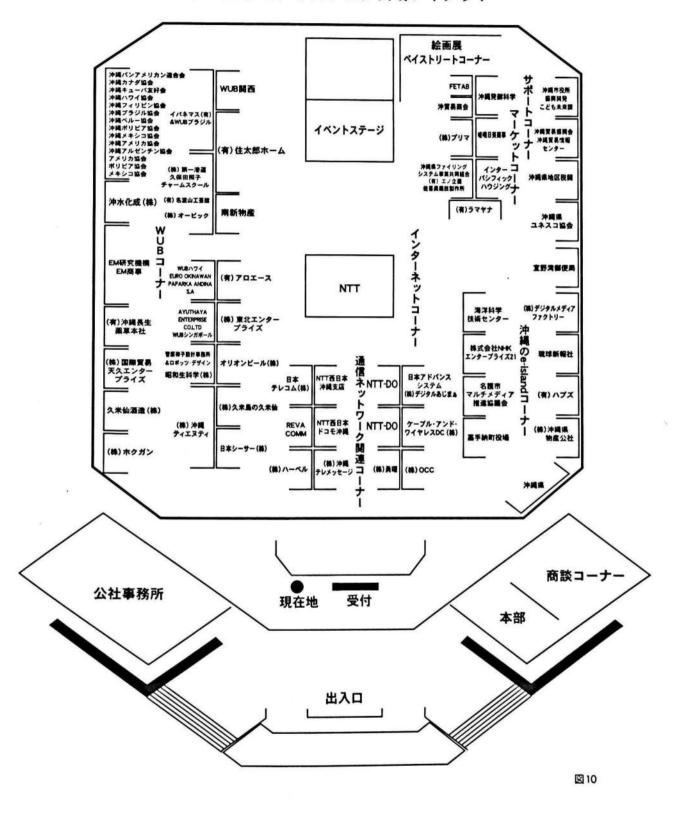
#### (カ) マルチメディアコンテンツ作品の紹介

沖縄映像センター、バグハウス、インパラ UGカンパニー、国際貿易、DMFの作品を上 映した。

# (キ)世界商業、観光ビデオ上映

イギリス、フランス、ドイツ、ハワイ、香港、 中国、ボリビアのビデオを上映した。

# ワールドビジネスフェア会場レイアウト



#### (10) ワールド学生会議 in OKINAWA

#### ア趣旨

海外と沖縄の接点になっている留学生・研修生を中心にして、若い世代を大会に積極的に参加させ、それぞれの視点で意見交換と提言を行い、沖縄の未来像と在るべき姿を検証することによって、国際的なヤングジェネレーションの交流と若者の声を反映させた21世紀型ネットワークの構築を目指す。

#### イ 日 程

平成13年11月1日(木) 13:00~18:00

2日(金) 09:00~18:00

3日(土) 09:00~19:00

4日(日) 09:00~21:00

#### ウ会場

万国津梁館、沖縄コンベンションセンター中会議室

#### 工 出席者

(ア)会議参加者:47名 (留学生10名·研修生6名·一般大学生31名)

#### a内訳

国外1名、県外8名、県内38名

#### b在籍大学

神戸大学、明治大学、早稲田大学、 青山学院大学、九州工業大学、琉球大学、 県立農業大学校、名桜大学、県立芸術大学、 沖縄大学、沖縄国際大学、 沖縄キリスト教短期大学、 ネバダ・カリフォルニア大学

#### c国 籍

キューバ1名、アルゼンチン2名、 ボリビア1名、ペルー1名、ブラジル1名、 フィリピン1名、台湾1名、韓国2名、 オーストラリア1名、ベルギー1名、 ポーランド1名、イギリス1名、日本32名

#### d参加学生

#### (a)県外

高井理香、瀬川辰彦、宮城朗子、熊田静、 仲村渠智、佐々木淳、山城直樹、上間ホセ

# (b)留学生·研修生

金城レオノール、 ブラボ岸本研治、劉桂英、金昴京、 金美恩、クーン・レンマンス、 シグリッド・ホフマイスター、 スタニスワフ・マイヤー、マット・ギラン、



分科会では地域に分かれた具体的な議論が行われた。

リリアン・ナカオ・ナカホド、 フェルナンダ・ラモス、嘉数カーチャ・ヘジーナ、 当山ペペ、マリア・ベルガラ

#### (c)県内

後藤永、山里康平、国吉夏美、山本菊代、 上原未和、慶田城七瀬、前原絹子、宮城征彦、 前堂直志、倉岡大樹、長嶺克、与那嶺幸乃、 砂川大吾、源古剛、高良まゆみ、忠岡経子、 譜久原真理子、宮城香里、安座間琴乃、 室津文江、山城和豊、普天間努、嘉手川重成

#### (イ)あいさつ

翁長良盛 沖縄県国際交流·人材育成財団理事長

(ウ) 聴講者:約103名(学生·一般他)

#### (工)報道機関

沖縄タイムス、琉球新報、沖縄テレビ、 琉球放送、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、 ラジオ沖縄

#### オ 内 容

(ア)セッション①

《自己紹介》

#### (イ)ビデオ鑑賞

『太平洋豚輸送大作戦』

~沖縄・愛と勇気の物語~

終戦直後、食糧難に苦しむ沖縄の人々を心配したハワイの県系移民がアメリカ政府の協力を得て、沖縄に約550頭の豚を贈ったドキュメンタリー。

#### (ウ)基調講演

演題『未来的な人の島へ』 講演者 下嶋哲朗氏 著書『豚と沖縄独立』

#### (エ)セッション②

#### 《二重討論》

沖縄移民の歴史を認識する上で、下嶋氏の講演 で登場するハワイ及び北米沖縄移民の事例を 踏まえつつ、自分が何者であるか再分析するた めに、沖縄人(ウチナーンチュ)のアイデンティ ティーについて「投げかけ式」の討議を行った。

# (オ)セッション③

#### 《全体討議》

現状を把握しにくく、県人会の力の弱い、アフ リカ及びヨーロッパの県人会のネットワーク 問題も議論の中に盛り込む。

このセッションで「ネットワークの是非」につ いて核心を突く論議を進めるため、事前に各県 人会組織の刊行物 (Newsletter/機関紙)を有 効利用し問題を認識しておく。

#### (カ)セッション④

#### 《分科会》

セッション③及びウチナーンチュ全体会議を もとに「ネットワーク」についての、具体的な案 を分科会ごとに議論。

- 1) 北米地域
- 2) 南米地域
- 3) アジア
- 4)沖縄(日本)

#### (キ)セッション⑤《交流会参加》

全てのセッションの議論を頼りに、実際に県人 会組織を動かしている方々と直接話しをする ことを目的とする。セッションで話し合って導 き出した話に具体性があるのか、方向性を見失 っていないか、課題解決方法が見出せない状態 を打破するための役割を果たす。

#### (ク)セッション⑥《まとめ》

全セッションの総括⇒学生とウチナーンチュ の組織が、今後どのような形で関わっていくの か、我々が考える「ネットワーク」について結論 を出す。



基調講演 下嶋哲朗氏



全体討議

#### カ 成 果(コミュニケ)

#### (ア) 北米チーム

- a 既存のネットワークの活性化を促すものとて 沖縄の未来の担い手と、海外の県人会との交流 を促進するホームページを作成する。プログラ ムの内容は、県人会を介したホームステイを通 して、お互いの音楽、文化等を共有する。北米の 経済的な面や県人会の規模から、実現の可能性 は高い。また、彼らの交流の様子をウェブサイ トに載せ、プログラムを紹介し、発展させる。 次に、若者主導の既存ネットワークを土台とし た新たなネットワーク作りである。
- b毎年或いは隔年で学生会議を開催する。開催地は、日本あるいは海外とし、ウチナーンチュ大会が開催される年には、沖縄県にて開催する。県人会の活動であり、語学的・設備的な面での協力が期待できる地域として、第1回の開催地はハワイが有力な候補地として考えられる。これは沖縄の若者が中心となって、世界中の交流を積極的に促す動きである。

#### (イ)南米チーム

- a今、沖縄でできること。
  - ・私たち若者が作るネットワークサークルを 設立(大学生を中心として発足し、後々の若 者サークルとしての基盤を作る)
  - ウェブサイトの立ち上げ。
  - ・国際交流センターを通して、沖縄にいるラテンアメリカ出身者・滞在経験者などとの交流 促進。(個々には国内外のウチナーンチュ、帰 国県系人も含む)

#### b各自でできること。

- ・ウェブサイトを通じて県外、海外の若者との リアルタイムの情報交換及び相互理解を促進。
- ・海外や県外の情報源の確保(人材確保)
- ・琉球大学にある既存の方言データベース化し、リンクさせ、世代間の理解を深める。 (ウェブコンテンツの一例)

#### c直接交流すること。

- ・各国持ち回りの若者イベントを開催し、開催 国及び自国の特異性や異質性を実際に認識し、 経験する。
- ・文化人の招聘・派遣を促し、文化の共有を図る。 (サルサ、エイサーなどを媒体とする)

#### (ウ)アジアチーム

#### a目 的

不安定なアジアの安全保障においての貢献。国 際平和のモデルアイランドになる。戦争につい て沖縄の加害者と被害者の立場を踏まえ、アジア 近隣諸国との歴史的理解を図り、未来を共に歩んでいく。

#### b組織作り

自分達にできること、ウェブサイトの作成。活動の拠点を沖縄で作る(学生会議内で分科会)。 近隣アジア諸国でも系列組織を作る(韓国、台湾、 中国、フィリピン)。

#### c発展性

平和についての研究機関(シンクタンク)の設立。

#### d活動内容

(a)平和研究

歴史研究、紛争からの脱却、貧困からの脱却

(b)人材育成

平和人材育成プログラム、各国人による直接交流

各種沖縄ネットワーク、県人会を利用した情報収集

(d)情報発信

WEB作成、雜誌創刊

#### (エ)沖縄チーム

- a 人材育成のひとつとして、沖縄文化や恒久平和 をテーマとした学生主体による県民参加型の 合同フェスティバルを主催すること。
- b県内の各大学を結ぶ、新たなネットワークシステムを構築すること。
- c 一辺倒の視点にならないために、県民と海外からの留学生や研修員との意見を交わす場を設けること。
- d 若者と年配の方とのジェネレーションギャップ問題に対応するため、世代を超えるネットワーク構築について検討すること。

沖縄チームでは、このコミニュケを、ただの投げかけで終わらせるのではなく、現段階で実現可能な範囲として、私達学生各々が、それぞれの大学でこの会議の提言を広め、実際にフェスティバル開催に向けて実行委員会を発足することに強い思いがあることの表明として、このコミニュケを発表する。

#### キ 総 評

大会初参加のキューバの留学生を筆頭に、オーストリア、イギリス、ベルギー、ポーランド、カナダ、アルゼンチン、ブラジル、ペルー、フィリピン、韓国、中国の留学生が参加し、結果的には47名の参加を得て、国際色豊かで若者らしい活発な意見交換がなされた。特に、学生運営委員会の設置、議題の提案、実施プログラムの提言、会議運営等、学生自身が主体的に取り組むことによって、それぞれの

持つ文化や地域特性の違いに対する互いの理解が 深まったことや、沖縄の現状について話し合われた ことは非常に意義深いことであった。



稲嶺知事と懇談する参加学生



白熱する議論、真剣な眼差し

# ク プログラム

11月1日 (木)	11月2日(金)	11月3日(土)	11月4日(日)
コンベンションセンター	万国津梁館	コンベンションセンター	万国津梁館
1. 大会開会式参加	1. 開会式	1. セッション④	1. セッション⑥
万国津梁館	2. ビデオ鑑賞	ウチナーンチュ	まとめ
2. オリエンテーション	ドキュメンタリー	シンポジウム参加	2. 閉会式
3. リハーサル	3. 基調講演	2. セッション⑤	3. 記者会見
4. セッション①	下嶋哲朗氏	分科会	コンベンションセンター
自己紹介	『未来的な人の島へ』	3. シンポジューム	4. フィナーレ参加
	4. セッション②	交流祭参加	
	二重討論(4プロック)		
	5. コーヒーブレイク		
	6. セッション③		
	全体討論		
	7. 反省会		

表8

#### (11) ウチナーンチュシンポジウム

#### ア 概要

#### (ア) 趣旨

世界のウチナーンチュ及び県内参加者が一堂に会しテーマを共有することによりウナーネットワークの存在を内外にアピールするとともに、国際社会における沖縄及び世界のウチナーンチュの果たす役割や相互の発展に寄与するネットワークのあるべき姿を探る。

#### (イ) テーマ

21世紀におけるウチナーネットワークにつ いて

#### (ウ) 開催日時

平成13年11月2日(金)~3日(土)

#### (工) 会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場

#### (オ)会議

- (1) 世界の沖縄女性フォーラム
- (2) 帰国県系人会議
- (3) 海外·国内県人会長会議
- (4) ウチナー民間大使会議
- (5) 全体会議
- (6) 特別講演会
- (7) 交流会

## (カ) 主催

第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

#### (+) 後援

琉球新報社

### イ 海外・国内県人会長会議

#### (ア) テーマ

ウチナーネットワークの構築・拡充について

#### (イ) 日時

11月2日 (金) 10:00~14:00

#### (ウ) 会議

沖縄コンベンションセンター第1会議場大会議室

#### (工) 出席者

コーディネーター 石川友紀 (琉球大学教授)

#### パネリスト

宮城調智(ブラジル沖縄県人会会長) 池宮城アウグスト(ペルー沖縄県人会会長) 伊波ジェームズ(ハワイ沖縄連合会会長) 親泊留美子(フィリピン沖縄県人会会長) 大城康彦(横浜市鶴見沖縄県人会会長) 諸喜田達雄(大阪沖縄県人連合会会長)

#### (才) 参加者数

210名

# (力) 意見要旨

会議においては、パネリスト及びフロアから様々な意見や提言が出た中で、海外・国内の県人会が抱える共通の課題に対処するために、県人会の情報を一元化する必要があるのではないかとの意見が出された。またウチナーンチュ大会は5年毎ではなく、2、3年置きに開催して欲しいとの要望が出るとともに、海外での開催も検討してはどうかとの提言があった。

海外県人会においては、世代交代が進んでおりウチナーンチュアイデンティティの継承や将来の県系人社会を担う人材育成等についても意見交換が行われた。また、今大会のプレイベントとして開催されたジュニアスタディツアーに関しては、多くの方から高い評価が与えられたので、今後とも継続して欲しいとの要望が多くの県人会長から出された。



海外・国内県人会長会議

#### ウ 世界の沖縄女性フォーラム

#### (ア) テーマ

「世界各地における男女共同参画社会の現 状と課題について」

#### (イ) 開催趣旨

本フォーラムは、世界に雄飛し、それぞれの地域で活躍している沖縄出身の女性たちからその地域における男女共同参画の現状と問題点、課題等日々悩み、解決に向けて取り組んでいることを紹介、報告してもらい、ウチナーンチュ大会に参加する全世界の女性たちと一体になって意見や情報の交換を行うことにより、理解と認識を同一にし、さらに女性たちのネットワークを世界中に構築することを目的に開催された。

#### (ウ) 開催日時

平成13年11月2日 (金) 10:00~12:00

#### (工)会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場中会議室

#### (才) 出席者

コーディネーター

佐渡山美智子 (フリーアナウンサー) パネリスト

比嘉啓子 (アメリカ・ニューヨーク州、ア クサアドバイザー、読谷村出身、 1世)

呉屋春美 (ブラジル、サンパウロ州政府税 務局職員、具志頭村出身、1世)

ハウブト仲田比呂子 (ドイツ、那覇市出身、1世) 翁長光子 (台湾、歯科クリニック会計、 具志川市出身、2世)

高良初子(ザンビア、婦人アカデミー理事長、那覇市出身、1世)

伊波輝美 (沖縄県知事公室男女共同参画 室長)

#### (力) 参加者数

150名

#### (牛) 意見要旨

それぞれの地域の男女共同参画の現状や暮らしの中の身近な問題等について報告がなされ意見交換が行われた。地域での取り組みを実効性のある活動とするためにも、女性たちが女性の視点と能力で取り組むことが必要であることが痛感され、女性たち

のエンパワーメントの必要性と、新たな女性のネットワークの構築に向けた取り組み の必要性が確認された。

#### エ ウチナー民間大使会議

#### (ア) テーマ

21世紀における民間大使の役割と活動に ついて

#### (イ) 開催日時

11月2日 (金) 14:00~16:30

#### (ウ) 会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場大会議室

#### (工) 出席者

コーディネーター 野崎四郎(沖縄国際大学教授) パネリスト 知花良治(ブラジル) 崎原啓子(コロンピア) 上運天ウェスリー(アメリカ) 栄口洋子(イギリス) 遠山光一郎(シンガポール)

# (才) 参加者数

190名

#### (力) 意見要旨

ウチナー民間大使制度は、沖縄らしいユニークな制度であるが、その役割については、 更に明確にする必要がある。したがって、その役割を一層明確化し、関係機関等へも十分 周知させてほしい。また、民間大使の活動を 支援する方策の一つとして、ニュースレター の発行等、県からの情報発信を強化してほしい。 そして、民間大使の活動状況やメッセージ、 情報等を県国際交流課のホームページに掲載し、 広く県民をはじめ一般の人々に紹介してほし いとの意見が出された。

民間大使自身も、母県沖縄とそれぞれの在 住国地域とを結ぶ「人的拠点」となるよう引 き続き努力していくことが確認された。

#### オ 帰国県系人会議

#### (ア) テーマ

国際交流における帰国県系人の役割と課題について

#### (イ) 開催日時

11月2日 (金) 14:00~16:00

#### (ウ) 会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場中会議室

#### (工) 出席者

コーディネーター

新垣 誠 (沖縄キリスト教短期大学助教授) パネリスト

国吉さおり(筑波大学大学院生、ペルー 県系3世)

大湾 進 (アルゼンチン3世、リゾートホ テル役員)

安谷屋隼裕 (ブラジル友の会副会長) 当銘由洋 (国場組流通・サービス本部顧問) 屋宜恒一 (沖縄フィリピン協会副会長)

# (才) 参加者数

80名

#### (力) 意見要旨

帰国県系人が抱える現状や課題について 意見を交換した結果、下記のような提言が なされた。

地域に根ざした国際交流を考えた場合、 帰国県系人の資質は地域社会において多大 な文化的・人的財産である。他の文化を持 って帰国する彼らは、地域との共生をとお して異文化へ理解や寛容力、そして共存す る機会を与えてくれる役割を担う。祝祭な どの文化交流や外国語講座などをとおし て、彼らの母国の文化を紹介してもらい、 21世紀に向けて多文化共生の理念に根ざし た国際的地域づくりに貢献してもらう。

帰国県系人がその資質を十分に発揮し、 上記のような役割を果たすには、以下のよ うな条件が必要となる。

- ・地域社会をあげて、彼らが日本語を速やかに習得できるシステムを構築する。
- ・沖縄社会で活躍できるように、進学・就 職のガイダンスを充実させる。
- ・日常生活における便利情報を、随時得られる生活支援システムを構築する。
- ・帰国者同士のサポートネットワークを構築する。

#### 力 全体会議

### (ア) テーマ

21世紀におけるウチナーネットワークのあり方について

#### (イ) 開催日時

11月3日 (土) 10:00~12:30

#### (ウ) 会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場大会議室

# (工) 出席者

コーディネーター

野崎四郎 (沖縄国際大学教授)

パネリスト

高良初子(世界の沖縄女性フォーラム代表、ザンビア)

当銘由洋(帰国県系人会議代表、アメリカ) 池宮城アウグスト(海外・国内県人会長会 議代表、ペルー)

崎原啓子(ウチナー民間大使会議代表、 コロンビア)

### (才) 参加者数

250名

# (力) 意見要旨

海外・国内県人会長会議、ウチナー民間 大使会議、世界の沖縄女性フォーラム、帰 国県系人会議の代表者がそれぞれの会議で 出された意見を集約し報告を行った。また、 フロアからも活発な意見があり、女性フォーラム、帰国県系人会議等新たなネッワー クの広がりを評価する声や、ウチナーンチュであることにこだわらず、沖縄に関心の ある人を含めたウチナーに関するネットワークをつくり、世界に広めていくことの重 要性が指摘された。

最後にジュニアスタディツアーの継続の 要望等を盛り込んだ共同コミュニケが採択 された。

#### + 特別講演会

#### (ア) 演題

世界を変えるIT革命 ~沖縄への提言~

#### (イ) 開催日時

11月3日 (土) 14:00~15:30

#### (ウ) 会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場大会議室

#### (工) 講師

比嘉ジェームス

<講師プロフィール>

年:1958年米国インディアナ州生まれ

学 歴:スタンフォード大学卒

現 職:アップルコンピューターインク

CEOオフィスシニアディレクター

職歴・経歴:1984年 アップルコンピュー (オ) 内容

ター社入社

1985年 日本語OS「漢字ト ーク」開発のため製品企画部 長として来日。

1989年 ネクストコンピュー ター株式会社設立に参加。同 社代表取締役に就任。

1996年 リアルネットワーク ス・インク入社。同社アジア 担当副社長兼日本法人代表を 務める。

2001年 アップルコンピュー ターインクに復職。現在CEO オフィスにてスティーブ・ジ ョブスの右腕として多忙な毎 日を送っている。

# (才) 参加者数 150名

# (力) 講演要旨

IT革命は、情報技術の革命であることよ りもコミュニケーションの革命であること に価値があると力説しながら、IT革命によ り人々の生活がどのように変化するかが具 体的に説明された。また、ITによる沖縄の 地域振興策として、一、全県民が光ファイ バーで無料アクセスできるようにする二、 県民が資金を出し合い基金をつくり、毎年 21名の若者を海外へ送り出す「21世紀の官 生」の実施などが提言された。

※官生=琉球王国時代に中国へ派遣された留学生

#### ク 交流会

#### (ア) 開催日時

11月3日 (十) 16:00~17:30

#### (イ)会場

沖縄コンベンションセンター第1会議場大会議室

#### (ウ) 参加者数

300名

#### (工) 式次第

- 一 開会(実行委員会事務局長 太田守胤)
- 二 主催者あいさつ

(実行委員会会長 稲嶺惠一)

三 乾杯 (ブラジル沖縄県人会長 宮城調智)

四 親談

県人会長、民間大使等海外参加者及びワ ールド学生会議参加者や国際交流団体関係 者等多数が参加し、食事をしながらなごや かに意見交換や交流が行われた。



比嘉ジェームス氏による特別講演会



交流会にて稲嶺実行委員会会長と

#### (12) 沖縄伝統芸能祭

#### ア 開催趣旨

九州・沖縄サミットにおいてアピールした沖縄の伝統芸能を〈伝承と交流〉をテーマにあらためて世界へ発信する。また、世界で活躍しているウチナーンチュと伝統芸能を通じて交流し、沖縄文化の伝承と次世代への継承を目的とする。「伝統の至芸」「伝承と交流」のサブタイトルをもうけ2会場で開催。

#### イ 事業概要

(ア) 開催日時:2001年11月2日(金)10:30~

12:30

11月3日 (土) 12:00~18:00

(イ) 開催場所:2日(金)…「伝統の至芸」

首里城公園下之御庭

3日(土)…「伝承と交流」

沖縄コンベンショ

ンセンター劇場

(ウ) 入場客数:2日(金)…1,850人

3日(土)…5,300人

#### ウ 全体プログラム

■2日(金): 「沖縄伝統芸能祭〜伝統の至芸〜」 幕開け、「四つ竹」 玉城流翔節会

- 二、「仲風節」 照喜名朝一(国指定重要 無形文化財「琉球古典音楽」保持者、琉 球古典安富祖流音楽研究朝一会会主)
- 三、「かせかけ」 玉城節子 (沖縄芸能連盟 会長、玉城流翔節会家元)
- 寿、「日傘」 玉城秀子(玉城流玉扇会玉城 盛義琉舞道場二代目家元)
- 五、「鳩間節」 宮城能鳳(宮城流鳳乃会会主)
- 六、「獅子舞」 玉城流扇寿会
- 七、「八重瀬の万才」 島袋光晴(島袋本流 紫の会二代目家元)
- 八、「南洋千鳥」 佐藤太圭子(太圭流華の 会家元)
- 九、「花風」 宮城幸子(真踊流真竹会会長)
- 十、「人盗人」 親泊久玄(親泊本流親扇会 二代目家元)
- 十一、「加那ヨー天川」 谷田嘉子(玉城流 扇寿会家元)、金城美枝子(玉城流扇寿 会家元)
- 結 、「太鼓ばやし」 玉城流玉扇会 (地謡:琉球古典安冨祖流音楽研究朝一会)

■3日(土):「沖縄伝統芸能祭〜伝承と交 流〜」

口第1部 語やびらうちなぁぐち大会

□第2部 新・長者の大主 (うふしゅ) 第1章 《大地の恵み》 第2章 《伝統の華》 第3章 《世界のあじまぁ》

口第3部 沖縄芝居「丘の一本松」

#### 工 開催結果

#### ■2日(金):首里城下之御庭

平成13年度の首里城祭と共催して開催されたこの沖縄伝統芸能祭は、幕開けの群舞にはじまり、国指定重要無形文化財保持者や県指定無形文化財保持者、伝統舞踊各流派の家元など琉球古典芸能の匠が今回の沖縄伝統芸能祭のために多数出演。過去に例のない豪華な顔ぶれが集うステージとなった。

入場者においては延べ1,500人が会場を訪れ、立見も出るなど大盛況となり、また、ハワイ州副知事のメイジー慶子広野氏も来場され、観客の皆さんとともに琉球古典芸能を堪能された。



伝統芸能国指定重要無形文化財 琉球古典音楽保持者 照喜名朝-



四つ竹

■3日(土):沖縄コンベンションセンター劇場 第1部では、世界のウチナーンチュを交え、 幅広い年齢層を対象にふるさとの言葉に対す る関心を高め、その価値を見直す機会を提供し、 沖縄文化の継承発展の一助とするとともに世 界のウチナーンチュと県民との活発な交流の 場の実現を目指し「語やびらうちなぁぐち大会」 を開催。司会進行をラジオでおなじみの上原 直彦さんと末吉りえさんが担当。海外より5名、 県内からは4名が出場し、上は88歳から下は7 歳の幅広い世代のウチナーンチュが自慢の「ウ チナーグチ」でスピーチを行ない、その魅力 を存分に伝えた。

第2部「新・長者の大主」では、沖縄に古くか ら伝わる芸能「長者の大主」を人間国宝(国指 定重要無形文化財「琉球古典音楽保持者) の照 喜名朝一氏が現代に合わせた再構成と演出を手 掛け、その名も『新・長者の大主』として新た な舞台を創出した。主役の「大主」を沖縄県出 納長の嘉数昇明氏が務め、人間国宝である照喜 名朝一氏や島袋正雄氏、その他に沖縄の芸能界を 代表する方々が、このウチナーンチュ大会のため にボランティアで出演して下さった。

第3章での「玉扇ダンス・エイサー」では沖縄 で学んでいる海外留学生・研修員が休日返上で練 習を重ねた成果を披露し、エンディングでは全出 演者と観客がカチャーシーを踊りながら幕を閉じ



語やびらうちなぁぐち大会



鳥数昇明中縄県出納長寅ずる「豹・長者の人主」

第3部「沖縄芝居『丘の一本松』」では、沖縄芝居の名優大宜見小太郎氏(故人)の代表作である人情劇「丘の一本松」を、沖縄映画社の山城茂監督・演出のもと、これまでハワイ公演など大小25回の公演を行ない県内外で高い評価を得ている北中城村「丘の一本松の会」の皆さんが熱演し本場沖縄のウチナー芝居を披露した。



沖縄芝居「丘の一本松」

#### 才 出演者 ※出演順

■2日(金): 首里城下之御庭

玉城流翔節会、照喜名朝一、玉城節子、玉城秀子、宮城能鳳、玉城流扇寿会、島袋光晴、佐藤太圭子、宮城幸子、親泊久玄、谷田嘉子、金城美枝子、玉城流玉扇会(地謡:琉球古典安富祖流音楽研究朝一会)

- ■3日(土):沖縄コンベンションセンター劇場 □第1部「語やびらうちなぁぐち大会」
- · 主催者挨拶、賞状記念品授与 沖縄県文化 協会会長 城間喜宏
- ・出場者
- ①「演題:世渡り」 山田義秀 (ブラジル沖縄県人会)
- ②「演題:ペルーのウチナーグチ雑感」宮平守清(ペルー沖縄県人会)
- ③「演題:ニフェーデービル守礼の邦」 比嘉朝儀(北米沖縄県人会)
- ④「演題:ゆんたく」洲鎌豊(カルガリー沖 縄県人会)
- ⑤「演題:チムガナサヌワシラランウチナー」 李久高勝子(ワシントンD.C沖縄会)
- ⑥「演題:うちなーぐち練習法」宮里諒・宮 里奏恵(沖縄市)
- ⑦「演題:ばんまいあじみっと(私も喋って みるよ)」仲宗根須磨子(平良市)
- ⑧「演題:与那城屋ぬパッパーが諭事(ゆしごと)」山内範正(名護市)
- アトラクション (大ボラ吹きの話し) 北村 三郎

- · 講評 伊狩典子
- ・司会 上原直彦、末吉りえ

口第2部「新・長者の大主(うふしゅ)」

- ・『長者の大主』 沖縄県出納長 嘉数昇明
- ・『ウフンメー』 沖縄県指定無形文化財「琉球歌劇」保持者 兼城美智
- ・『雲親方 (ペーチン)』 沖縄県指定無形 文化財「琉球歌劇」保持者 仲嶺眞永
- ・『筑登之(チクドゥン)』 沖縄県指定無 形文化財「琉球歌劇」保持者 平良進

#### 第1章《大地の恵み》

『わらべ唄』

玉城城流玉扇会 [若みんな] (中尾彩、新城愛子、 国吉若菜、中村夏子、玉城利沙、伊佐絵里夏、上 原信次、松川加奈、玉城皓、金城麻祐子、森はなえ、 大田優希、上原真理、玉城朱里、本村彩乃、新里 利実、伊波優佳、當山詩織、比嘉弥生、津波古華苗、 高江洲安祐美、宮城夢野、比嘉悠子、新里聖幸、 砂川佳苗、松川奈央、真喜志知夏、新垣しおり、 長田真理子、山本綾乃、石川智巳、宮城由里奈、 相良春香、真栄平雪乃、相良美鈴、大城歩、与座 未羅衣、吉盛聖佳、呉屋由樹、内間笑、友利志穂、 宮城晴香、国吉杏里、比嘉侑里佳、伊佐美紀)

· 『谷茶前』

玉城流扇寿会(フランセス仲地、後藤礼子、 山川昭子、金城直江、金城美香、根保真弓、 高江洲咲子、金城奈津子、生田明子、与那城 恵美、平良綾乃、玉城咲妃子)

・『マミドーマー~稲摺り』

玉城流玉扇会(大濱多津江、佐久川順子、比 嘉光子、玉城美千子、大田礼子、金城七七代、 島袋正子、仲村加代子、鉢嶺初江、米須千恵、 亀谷スミ子、金城ひろ子、金城順子、与座京子、 山城愛子、高嶺敦子、玉城静江、嘉数紀美子、 黒澤順子、瀬底栄子)

- ・『クイチャー』在沖うるかクイチャー保存会
- · 『空手』

沖縄県指定無形文化財「沖縄の空手・古武術」 保持者、沖縄空手道小林流小林館協会会長 仲里周五郎

#### 第2章《伝統の華》

『かぎやで風』

玉城流翔節会(玉城律子、城間久美子、上里 初枝、瑞慶山和子、仲村妙子、砂川徳子、神 山典子、平良恵子、安里タマ子、久高美智子、 大城昌子、玉城優美、新垣愛子、金城しの、大 宜味拓馬、玉城彩衣、島田佳奈、伊地三香子)

・『かしかけ』沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」保持者、沖縄芸能連盟会長、玉城流翔節会家元玉城

節子

· 『天川』

沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」保持者、 玉城流玉扇会玉城盛義琉舞道場二代目家元玉 城秀子

· 『高平良万歳』

沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」保持者、 玉城琉扇寿会家元谷田嘉子

・『上り口説』

海外県系人(高宮輝ケリー・上運天メリサ(ハワイ県系人)、島アリス・山内ゆう子(ロスアンジェルス)、諸見里レジアニ明美(ペルー)、奥那嶺エリカ・奥那嶺ミカ・玉那覇ロミナ(アルゼンチン)

- · 『人間国宝 作品·製作工程紹介』
- ①国指定重要無形文化財「琉球陶器」 保持者 金城次郎 (映像でのご紹介)
- ②国指定重要無形文化財「紅型」 保持者 玉那覇有公(映像でのご紹介)
- ③国指定重要無形文化財「首里の織物」 保持者 宮平初子 (映像でのご紹介)
- ④国指定重要無形文化財「読谷山花織」保持者 與那嶺貞(映像でのご紹介)
- ⑤国指定重要無形文化財「芭蕉布」 保持者 平良敏子(映像でのご紹介)
- · 『人間国宝 琉球古典音楽独唱』
  - ①国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」 保持者 島袋正雄
  - ②国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」 保持者 照喜名朝一

#### 第3章《世界のあじまぁ》

- ・『めんそ-れ・汗水節(あしみじぶし)』 照喜名朝國とあけぼのサウンド(照喜名朝國、 照喜名朝之、宮里一人、上原睦三、松本紀、 岸本隼人、大城智史、宇保朝輝、賀数さやか、 伊礼麻乃、与那国大介、横山太陽、上原信次、 大城幸代、山里りさ、諸見里レジアネ明美、 玉那刷ロミナ、伊盛ダビド生光、山内優子)
- ・『胡蝶の舞』 恵比寿大黒(仲嶺眞永、平良進)

『玉扇ダンス・エイサー』

玉城琉玉扇会(玉城美千子、大田礼子、高嶺敦子、 黒澤純子、照喜名宏美、新城裕子、神谷香利、比 嘉亜須香、仲栄真幸、金城七七代、大木ルミ子、 大城恵、玉城佳南子、佐久川明菜、伊佐美紀、仲 間沙弥、武島和広)

海外留学生・研修員(河度亨(韓国)、小沢由 美ルシアーナ・嘉数カチアへジーナ・クラリッサ カルバルホ・糸洲カリーナヒロミ・仲松クラウディア・新垣クリスチアネ(以上ブラジル)、ソニ アロドリゲス・金城友利奈美クラウディア(以上 ボリビア)、新垣佐久田ディアナクロリンダ・仲 宗根知念エリカレヒナ・エルネストホセモランチ 当山・井上ルティ(以上ペルー)、糸数美代・高 アリス(以上アメリカ)、上運天メリサ・高 輝ケリー、奥那嶺ミカ・フェルナンダジゼルラモ ス(以上アルゼンチン)、ディアンムティア(インド ネシア)、トレス内里ビクトルハジメ(メキシコ)、 カイルルイズワンビンムサ(マレーシア)、劉怡靖(中 国)、アリジュマアルシシ(オマーン)

#### ※地謡

- ・野村流音楽協会島袋正雄教修所(歌・三線: 島袋信誠、湧上洋、東若実、小渡良盛、西平 守進、崎浜秀光、筝: 仲宗根節子、笛:高江 洲昌市)
- ・安冨祖流音楽研究朝一会(歌・三線:照喜名進、 仲嶺伸吾、新垣安弘、喜名潤一、前城康雄、 照喜名朝之、筝:大城智史、笛:宇保朝輝、 太鼓:賀数さやか)

□第3部「沖縄芝居『丘の一本松』」 <北中城村丘の一本松の会〉 【配役】頑固主…我如古孝明、 アンマー…大城トヨ、 良介…伊佐純子、 ツル子…比嘉和江、 馬喰主…金城トヨ子、 山原アンマー…比嘉八重子、 医者…比嘉ヤス子、 社員…比嘉正子、 光ちゃん…米須冴子、

【地謡】浦崎政輝、喜屋武繁

# (13) 沖縄郷土劇場

#### ア 概要

第3回世界のウチナーンチュ大会の参加者が 県民と一緒になって、沖縄伝統芸能の素晴らし さを認識し、ウチナーンチュ・アイデンティティーの再確認を行うことを目的に「第3回世界 のウチナーンチュ大会 沖縄郷土劇場」を開催 した。

昼・夜2回の琉球舞踊公演を行い、2公演合計で880人の観客があった(うち、3分の1が海外からの大会参加者)。昼の公演では、喜歌劇「馬山川」の美男美女と醜男醜女の滑稽なやりとりが会場の笑いを誘った。夜の公演では、出演者と観客が一緒になって踊った「カチャーシー」が大好評であった。

昼・夜公演ともに「古典舞踊」「雑踊り」等の沖縄に古くから伝わる踊りを中心に構成し、プログラム中盤と終盤に「創作舞踊」を取り入れ観客を魅了するバラエティーに富んだ演目内容で、沖縄の伝統芸能の素晴らしさを認識するという開催目的を充分に達成できた。

#### [公演場所]

沖縄県立郷土劇場

座席数・・・・・・・・540席

# 公演状況

単位:人

区分	日時(開演時間)	出演団体	観客数
昼の部	11月2日 (金) 午後2時00分 ~3時30分	島袋流 千尋会	503
夜の部	11月2日(金)午後7時00分 ~8時30分	玉城流 七扇会	377
			計880

# イ 出演団体名簿

# ①昼の部 立ち方

No	氏 名	備考
1	島袋 光尋	島袋流 千尋会
2	島袋 君子	"
3	仲村 正雄	"
4	末吉 ヤスエ	n
5	西島 ゆかり	"
6	松本 なみ子	"
7	名嘉 ハツ	"
8	當山 昭子	"
9	恩河 純子	"
10	上原 智子	"
11	古堅 やよい	"
12	島袋 史子	"
13	山川東 洋子	"
14	古波津 京巳	"
15	高里 さと子	"
16	多和田 登美子	"
17	高宮城 良枝	"
18	親盛 恵	"
19	知念 亜美	"

# 地謡

No	氏 名	備考
1	宮城 康明	歌・三線
2	仲程 健一	"
3	喜納 昌盛	n
4	比嘉 玲子	箏
5	新垣 俊道	笛
6	渡慶次 全一	太鼓
7	比嘉 清	胡弓

# ①夜の部 立ち方

No	氏 名	備考
1	大城 常政	島袋流 千尋会
2	糸満 盛幸	"
3	上地 美智子	"
4	伊野波 礼子	"
5	西村 利江子	"
6	嘉陽 則子	"
7	比嘉 一枝	"
8	伊波 文子	"
9	堀川 和美	"
10	浜川 真由美	"
11	安里 明美	"
12	浜元 良子	"
13	安里 晴美	"
14	大城 ふみ子	. "
15	神本 律子	"
16	高良 亜矢子	"
17	諸見川 直美	"
18	前堂 和香奈	"
19	大城 奈利子	"
20	伊芸 光枝	"
21	金城 より子	"
22	大城 千賀子	"
23	赤嶺 浩子	"
24	安谷 わか子	"

# 地謡

No	氏 名	備考
1	金城 清雄	歌・三線
2	上間 宏俊	"
3	渡名喜 康宏	"
4	許田 恵美子	箏
5	我那覇 常允	笛
6	銘苅 春政	太鼓
7	当山 スエ子	胡弓

#### ウ プログラム

① 昼の部

[演目]

[出演者]

1 四つ竹

山川東洋子 松本なみ子 名嘉ハツ 多和田登美子

高里さと子 古堅やよい 當山昭子 新盛 恵

2 若衆ゼイ

島袋史子 古波津京巳 高宮城良枝 知念亜美

3 前の浜

西島ゆかり 上原智子

4 むんじゅる

松本なみ子 末吉ヤスエ

5 ゆらていく節 山川東洋子 高里さと子 古堅やよい 高宮城良枝

多和田登美子 新盛 恵

6 いちゅび小 恩河純子 古波津京巳 島袋史子 上原智子

7 瓦屋節

名嘉ハツ 當山昭子

8 マヤー小

恩河純子 末吉ヤスエ 古波津京巳 上原智子

古堅やよい 島袋史子 高宮城良枝 知念亜美

9 八重瀬の万歳 島袋光尋

10 海の民

西島ゆかり 仲村正雄 當山昭子 上原智子

松本なみ子 恩河純子 名嘉ハツ 末吉ヤスエ

11 鳩間節

島袋君子

12 馬山川

島袋光尋 仲村正雄 西島ゆかり 松本なみ子

島袋史子 上原智子 恩河純子 末吉ヤスエ

[監修]

島袋光尋 (島袋流千尋会 会主)

[舞踊指導]

島袋君子(島袋流千尋会 会主)

[地謡指導] 宮城康明(野村流古典音楽保存会 師範)

[解 説] 知花小百合

① 夜の部

[演目] [出演者]

1 四つ竹 嘉陽則子 浜川真由美 安里明美 浜元良子 安里春美

大城ふみ子 神本律子 高良亜矢子 諸見川直美

前堂和香奈 大城千賀子 赤嶺浩子

2 前の浜 大城奈利子 金城よりこ 安谷わか子

3 瓦屋節 比嘉一枝 伊波文子 堀川和美

4 取納奉行 嘉陽則子 西村利江子 高良亜矢子 諸見川直美

大城千賀子 赤嶺浩子

5 鷲の鳥 浜川真由美 大城奈利子 金城より子 安谷わか子

6 太鼓ばやし 大城常政 糸満盛幸 上地美智子 伊野波礼子 安里明美 伊波文子

7 浜千鳥 浜元良子 安里春美 大城ふみ子 神本律子

8 鳩間節 高良亜矢子 諸見川直美 前堂和香奈 大城千賀子 赤嶺浩子

9 加那ヨー天川 嘉陽則子 西村利江子

10 戻り駕籠 大城常政 糸満盛幸 安里春美

11 海人 上地美智子 伊野波礼子 比嘉一枝 伊波文子

堀川和美 浜川真由美 安里明美 大城奈利子

浜元良子 大城ふみ子 金城より子 前堂和香奈

安谷わか子 神本律子

[監修] 字根 伸三郎 (玉城流七扇会 家元)

[舞踊指導] 山城 洋子 (玉城流七扇洋子の会 会主)

[ " ] 知名 文子 (玉城流七扇文の会 会主)

[地謡指導] 金城 清雄(安富祖流絃声会 師範)

[解 説] 知花 小百合

# エ 公演スケジュール

実 施 日:平成13年11月2日 (金)

実施場所:沖縄県立郷土劇場 (那覇市東町会館2階)

区 分	時間	日 程	備考
昼の部	13:30	開場(受付開始)	公演時間
島袋流 千尋会	14:00~15:30	開演~終演	(1時間30分)
夜の部	18:30	開場(受付開始)	公演時間
玉城流 七扇会	19:00~20:30	開演~終演	(1時間30分)

# 才 観客数

区 分	人 数
昼の部 (島袋流千尋会)	503
夜の部 (玉城流七扇会)	377
計	880

# カ スタッフ対応人員

単位:人

No	区 分	人 数
1	(財) 沖縄県文化振興会	13
2	沖縄県庁からの応援職員	2
3	ボランティア	7
4	日本ホールサービス (劇場委託業者)	3
⑤	臨時解説員	1
6	駐車場整理員	2
	合 計	28

#### (14) ミュージックフェスト

(ア) 開催日時:平成13年11月3日(土) 午後4時~9時30分

(イ)場 所:沖縄コンベンションセンター展示場

(ウ) 入場者数:延6,717名

(エ) 司 会:ロバート・ブーディ、堀川カロリーナ

(オ) 出 演:KACHIMBA1551、ケンジ山里パンド、 TANGO LOMANGO、DIAMANTES (出演順)

(カ) 概 要: 今回は南米を中心に4つの県 系アーティストによる、サルサ・ マンボ・チャチャチャ・ボサノ バ等のラテンサウンドで構成す る5時間半のコンサート。

最初は県内で活躍するカチンバ1551総勢12名のメンバーによるオリジナル曲を中心にした華やかで躍動的なステージで始まり、

2番手のケンジ山里バンドは、 ペルー民謡とダンサブルなオリ ジナル曲で会場内を沸かせ、メ ンバーと共にステージ上で観客 も参加してダンスを繰り広げる 前半と沖縄民謡をアレンジした 曲をしっとりと聞かせる後半と いうステージ構成。3番手の TANGO LOMANGOは、サン パウロ在住の翁長巳酉氏を中心 に日本の一流ジャズミュージシ ャンが集結し、沖縄・ブラジル のエッセンスを取り入れた迫力 のジャズ演奏を堪能させ、最後 に沖縄を代表するラテンバンド・ DIAMANTESが多くのファン と会場の観客とが一体になって お馴染みのヒット曲を中心に演奏、 盛り上がりが最高潮に達した。

フィナーレは全出演者による合同演奏、そして大会テーマソング「片手に三線を」(DIAMANTES)を全員で合唱し、感動のうちにコンサートを締めくくった。



ディアマンテス



ケンジ山里バンド



KACHIMBA 1551



TANGO LOMANGO

#### (15) 空手道·古武道交流祭

#### ア 開催趣旨

空手道・古武道は、沖縄が世界に誇る伝統 文化の一つであり、護身術としてはもとより、 礼節と信義を尊び、人格形成に資する素晴ら しい武道として今日まで受け継がれてきた。 現在では、世界160カ国余に普及し、約4千 万人の愛好家がいると言われており、海外に おいて世界大会が開催されるまでに発展して いる。

空手道・古武道交流祭は、国の内外の空手 マンの相互交流を通して、技量の向上はもと より、優れた先達に学び、視野を広げ、世界 で活躍する契機となるよう開催された。



オープニング

#### イ 事業概要

(ア) 内 容:諸外国、県内外の空手マンの技 術向上と人材育成とともに親善 を目的とした国際交流。

併せて資料展示も行った。

(イ) 主 催:第3回世界のウチナーンチュ大会

実行委員会

(ウ) 共 催:琉球新報社

(工) 開催日時:平成13年11月2日(金)、3日(土)

11月2日 13:00~18:00 11月3日 11:00~18:00

(才) 開催場所:沖縄県立武道館

(力) 運 営:空手道·古武道交流祭運営委員会

(キ) 出場者数:2100名(ク) 入場者:5750名



客席

#### ウ 開催結果

県内の沖縄空手・古武道の3団体を中心に 世界のウチナーンチュ大会実行委員会の下に 運営委員会が結成され(後、「沖縄空手・古武 道連盟」も運営委員会に参加)、交流祭の企画、 当日の運営・進行に当たった。

アメリカ、フランス、ペルー、ニュージーランドからの参加に加え、県内小中高生の参加があり、交流祭に相応しく、多くの参加者で盛り上がり、最終日は交流祭のフィナーレにふさわしく無形文化財保持者の先生たちにより沖縄空手・古武道の粋ともいえる演武が披露された。

県立武道館に隣接する奥武山陸上競技場では、国際交流ゲートボール大会(開催期日11月3日開催)も催され、駐車場スペースが心配されたが、関係者の好意的な取り計らいにより那覇港湾施設(=那覇軍港)のスペースが駐車場として使用できることになってこの問題は解決された。



#### (16) 国際交流ゲートボール大会

ゲートボールを通した国際スポーツ交流。海外・ 県外の参加チームと県内各市町村からの参加チームとによる親善試合を行った。また会場には、フリードリンク (麦茶) と黒砂糖をセットし簡単な 懇親の場を設けた。

#### ア 概要

#### (ア) 実施日時

11月3日(土)・4日(日) 1日目/9時20分~16時55分 2日目/8時30分~15時15分

#### (イ) 実施場所

奥武山総合運動公園陸上競技場

#### (ウ) 実施内容

今回は、112チームの参加があり大会両日とも天候に恵まれスムーズな大会運営がなされた。競技運営に関しては、今回、主管となった沖縄県ゲートボール連合との連携のとれた運営でスムーズに競技を進行・消化できた。また、開催当日は運営スタッフは早朝6時から最終準備を行い、無事に開会式へと臨むことができた。



#### イ 作業経緯

今回、世界情勢の影響で海外からの参加チームの数が最終締切りまで前回を下回る状況にあったが、最終的にはほぼ前回並の参加チーム数になった。県内参加チームは、ゲートボール連合から各市町村に募集を行い、順調に参加チームが集まった。また競技運営を行うに当たり、大勢の審判員が必要となるため、審判員の講習会を数回開催しながら実際の試合でのシュミレーションも行い、大会実施に向けて万全の体制を整えた。

#### ウ 参加チーム

①県内参加/80チーム (536人) ②海外参加/32チーム (176人) 合計 112チーム (712人)

役員・審判団/130人

#### 工 式次第

#### (ア) 開会式

- · 開式通告/司会
- ・選手入場
- ·開会宣言/上江洲 剛

沖縄県ゲートボール連合副会長

- ・国旗、県旗、沖縄県ゲートボール連合旗掲揚
- ・大会主催者代表挨拶/稲嶺 惠一(代読出納長) 第3回世界のウチナーンチュ大会 実行委員会会長(沖縄県知事)
- ・歓迎の挨拶/下地 幹郎 沖縄県ゲートボール連合会長
- ・競技上の注意/大城 哲夫 国際交流ゲートボール大会運 営委員長 (沖縄県ゲートボール連合理 事長)
- ·選手宣誓
- · 閉会通告/司会
- ·選手退場

#### (イ) 閉会式

- ·開式通告/司会
- ・成績発表/玻名城 英僖 国際交流ゲートボール大会 記録・集計班長
- · 表彰
- ・大会主催者代表挨拶/嘉数 昇明 第3回世界のウチナーンチュ大会 実行委員会副会長(沖縄県出納長)
- ・国旗、県旗、沖縄県ゲートボール連合旗降納
- · 閉会宣言/司会
- 閉会通告

#### オ 大会結果

1位クラス

優 勝/北中城村·屋宜原

進優勝/東風平町・富盛

第三位/アルゼンチンJ

アルゼンチンB

#### 2位クラス

優 勝/ペルー・崎原

準優勝/東風平町・高良愛好会

第三位/東風平町·東風平長寿会2組

宜野湾市・大謝名老人会

#### 3位クラス

優 勝/那覇市・ゴーゴーファイブ

準優勝/北谷町・北谷B

第三位/ハワイ・ハイビスカス

大里村・平川

#### 4位クラス

優 勝/勝連町・肝美さ

準優勝/ブラジル・8組

第三位/金武町·金武球結友会B

金武町・伊芸ガジュマルB

#### カ 参加チーム

- 1.ブラジル・ブラジル1組
- 2. "・ブラジル2組
- 3. "・ブラジル3組
- 4. "・ブラジル4組
- 5. "・ブラジル5組
- 6. "・ブラジル6組
- 7. "・ブラジル7組
- 8. "・ブラジル8組
- 9. "・ブラジル9組
- 10. "・ブラジル10組
- 11.アルゼンチン・アルゼンチンA
- 12. "・アルゼンチンB
- 13. "・アルゼンチンC
- 14. "・アルゼンチンD
- 15. "・アルゼンチンE
- 16. "・アルゼンチンG
- 17. "・アルゼンチンH
- 18. "・アルゼンチン I
- 19. "・アルゼンチン」
- 20.ペルー・ペルー崎原
- 21. "・ペルー仲里
- 22. "・ペルー伊芸
- 23. "・ペルー仲程
- 24. "・ペルー松田

- 25. "・ペルー天願
- 26. "・ペルー仲村渠
- 27. ボリビア
- 28. ハワイ・ホノルル13番地
- 29. "・ハイビスカス
- 30. "・プルメリア
- 31. "・レファ
- 32. カナダ・トロント球陽会
- 33. 名護市・名護サマー
- 34. "·名護北
- 35. " · 名桜
- 36. 官野座村・惣慶区老人クラブ
- 37. 金武町・並里A
- 38. "・なみさと
- 39. " ・伊芸ガジュマルA
- 40. " · 伊芸ガジュマルB
- 41. "・伊芸ガジュマルC
- 42. " · 屋嘉A
- 43. " · 屋嘉B
- 44. "·金武球友会A
- 45. " · 金武球友会B
- 46. 北大東村·北大東村
- 47. 南大東村・南大東ビロー会
- 48. 石川市·石川前原
- 49. 具志川市・具志川A
- 50. " · 具志川 B
- 51. " · 具志川 C
- 52. 沖縄市・沖縄さわやか
- 53. "·越来
- 54. 読谷村・喜名エンジェル
- 55. "·座喜味
- 56. "·楚辺
- 57. "·波平A
- 58. 嘉手納町・嘉手納町
- 59. 北谷町・北谷A
- 60. "·北谷B
- 61. "·桃原
- 62. "・北谷あけぼの
- 63. 宜野湾市・大謝名老人会
- 64. "·長田老人会
- 65. 与那城町·与那城
- 66. 勝連町・肝美さ
- 67. 北中城村·屋宜原
- 68. 中城村・中城友の会
- 69. 浦添市·宮城寿楽会
- 70. "·城間寿会
- 71. "·前田生球会

72. "·小湾鶴亀会

73. "・みやらび

74. " · 浦添西原

75.西原町・さわふじ

76. "·上原

77. " ・棚原

78.那覇市・わかば会

79. "·わかば会B

80. "・ゴーゴーファイブ

81. "·平良若竹

82.糸満市・新川

83. " ·大里

84. " · 福地

85. 豊見城村・豊見城村老人クラブ

86.東風平町·東風平長寿会1組

87. "·東風平長寿会2組

88. " · 富盛

89. "· 当銘長寿会

90. " · 高良愛好会

91.具志頭村·後原1組

92. "·大頓1組

93. " ・港川

94.玉城村·玉城

95. "·玉城A

96. "·玉城B

97. "·玉城C

98.南風原町・南風原町A

99. " · 南風原町B

100. "·南風原町C

101. " ·南風原町D

102.大里村・平川

103.佐敷町・佐敷ファイターズ

104.知念村・セーファ

105.渡名喜村・渡名喜村

106.伊良部町・国仲

107.石垣市・おもと

108. "·石垣第四A

109. "·石垣第四B

110. "・大浜アカハチ

111.竹富町・小浜老人クラブ明朗会

112. "・白浜

#### キ 大会運営役員

大会主管/沖縄県ゲートボール連合

会 長 下地 幹郎

副会長 上江洲 剛

" 玉那覇 正孝

相談役 砂川 寛郎

# 神里 當市

運営委員長/大城 哲夫 競技総務班長/神谷 厚吉 競技総務員/井上 昇 記録・集計班長/玻名城 英傳 進行班長/友寄 光男 競技用具班長/宮城 栄範

審判委員長/宇垣 信行

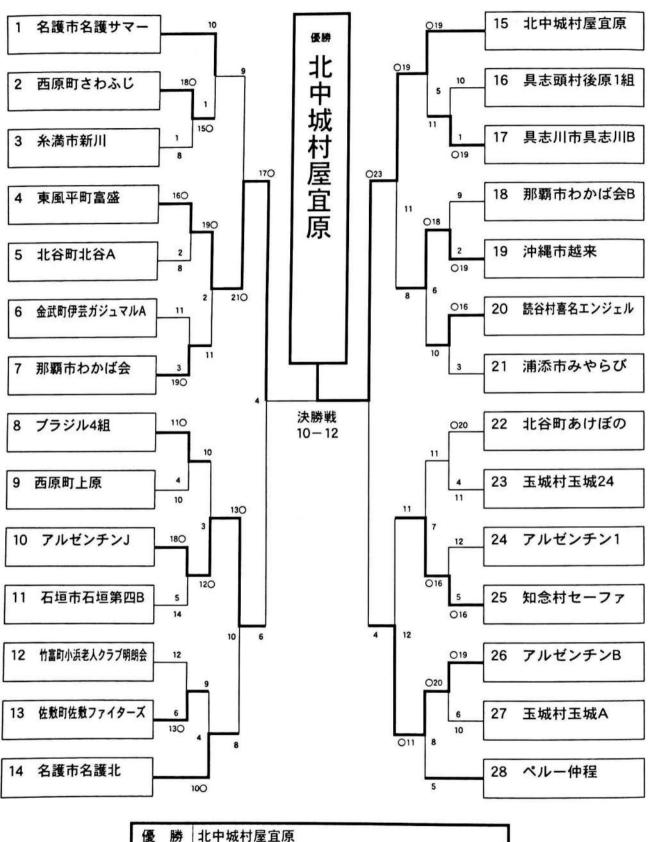
審判副委員長/仲里 彦一

#### [協力団体]

- (財) 沖縄県老人クラブ連合会
- (財) 沖縄県公園・スポーツ振興会

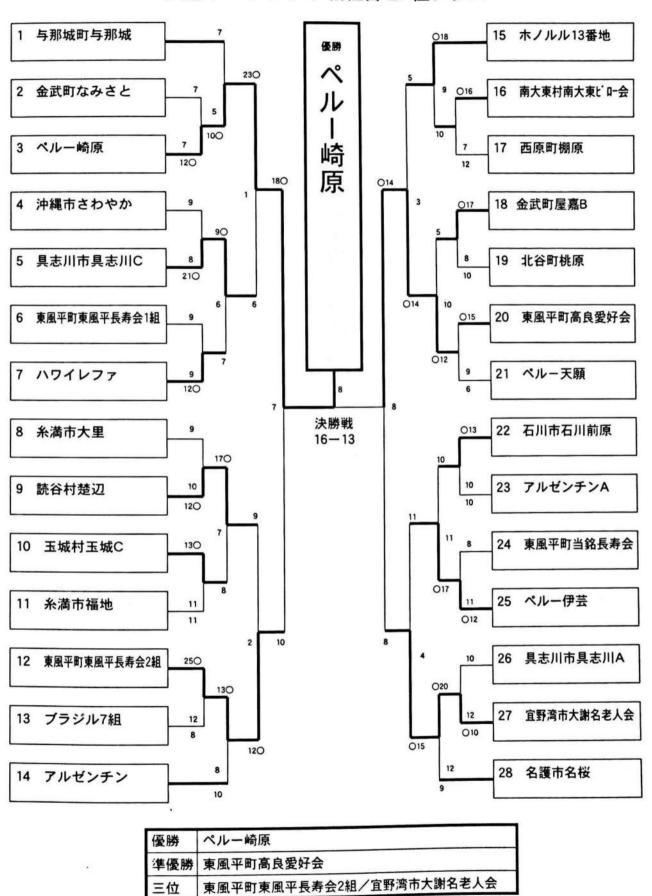


# 決勝トーナメント戦組合せ1位クラス

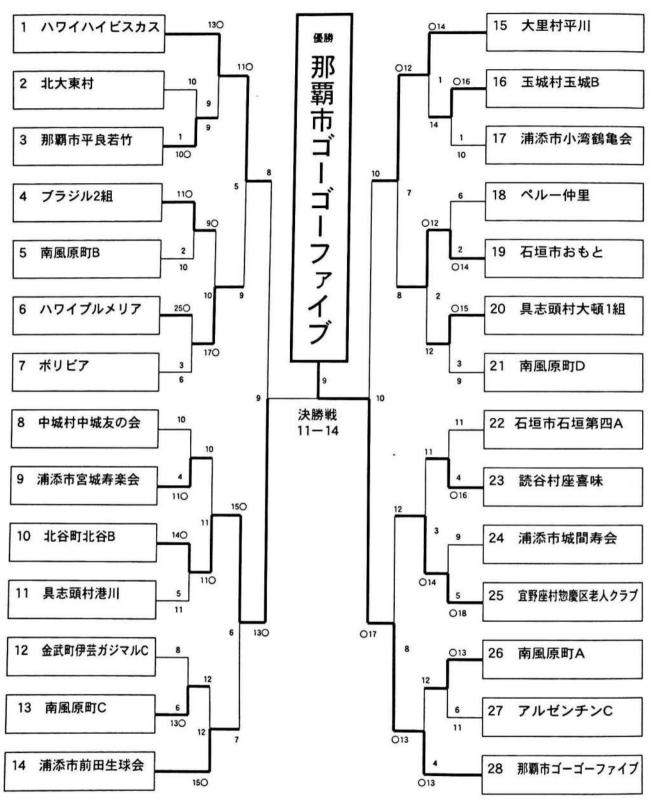


優勝	北中城村屋宜原	
準優勝	東風平町富盛	
三 位	アルゼンチン J / アルゼンチン B	

# 決勝トーナメント戦組合せ2位クラス

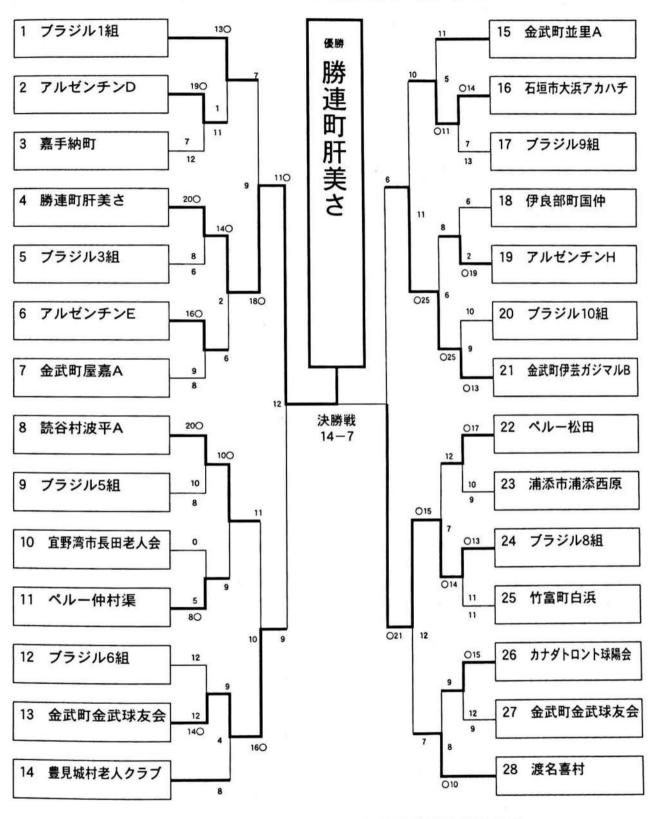


# 決勝トーナメント戦組合せ3位クラス



優勝	那覇市ゴーゴーファイブ	
準優勝	北谷町北谷B	
三位	ハワイハイビスカス/大里村平川	

# 決勝トーナメント戦組合せ4位クラス



優勝	勝連町肝美さ
準優勝	ブラジル8組
三 位	金武町金武球友会B/金武町伊芸ガジマルB

#### (17) フィナーレ

懸念された観客動員と海外と地元の棲み分けも、 大きなトラブルもなく全体的な概況としては大盛 況に終了した。

特筆すべきは、第1部・第九交響曲での一般公募した合唱団が日を追うにつれて増え、最年少の15歳から最高齢の73歳まで、最終的には県内では初めて390名の大合唱団となり、指揮者と琉球交響楽団の力量もあいまって、本番では最高のアンサンブルを醸し出した。

アンコールの『だんじゅかりゆし』変奏曲も三線とオーケストラの共演という初の試みであったが、「第九」と同様に、沖縄の音楽シーンの新たな可能性が垣間見え、4千人近い観客がスタンディングオベーションという最高の賛辞を贈る感動的なシーンが繰り広げられた。

第2部・セレモニーではアルベルト城間と浦添 少年少女合唱団による大会テーマソングの合唱と ともに海外参加者代表及び留学生代表の日本語と 自国語のあいさつ、児童による4カ国語の大会宣 言も国際性豊かな沖縄の特質を表しており、時代 を担う若者達が世界に羽ばたく可能性を十分に感 じさせてくれた。

第3部・スペシャルコンサートは喜納昌吉&チャンプルーズのコンサートが行われ、エンディングでハイサイおじさんの曲にのせて、カチャーシー踊りで最高潮となり感動のうちに閉幕した。

CBCSの協力によりインターネット中継で放映され、世界にウチナーンチュ大会の存在と沖縄 文化の質の高さを発信した。

#### ア 実施日時

平成13年11月4日(日) 午後5時30分~午後9時15分

#### イ 会場

沖縄コンベンションセンター展示場

# ウ 出席者及び出演者

(ア) ファイナルコンサート

指 揮 大友直人 ソリスト 兼嶋麗子 (アルト) 謝花美也子 (ソプラノ) 喜納賢仁 (テノール) 伊江朝明 (バス)

演奏 琉球交響楽団 (62名) 野村流音楽協会 (10名)

台 唱 県民第九合唱団 (390名)

# (イ) セレモニー

アルベルト城間・浦添少年少女合唱団 (45名)



第九交響曲コンサート



アルベルト城間&浦添少年少女合唱団

稲嶺惠一沖縄県知事・嘉数昇明沖縄県 出納長

呉屋春美・上間ホセ

春山紗樹・瀬底エミリー

渡口康孝・ルシアナゆみ小沢

琉球交響楽団(管弦楽五重奏)5名

(ウ) 大歓談会

呉屋守將WUBインターナショナル会長 野村流音楽協会 (10名)

- (エ) スペシャルコンサート 喜納昌栄・喜納昌吉&チャンプルーズ (6名)
- (オ) 司会 岩井証夫 猪野光代
- (力) 観客数

国内外の招待者及び一般 8,000人余

#### 工 海外参加者代表挨拶

実行委員会会長の沖縄県知事稲嶺惠一様をはじめ、 関係各位及び会場の皆様、ちゅーうがなびら。今 回初めてウチナーンチュ大会に参加して感激した ことについてお礼を述べたいと思います。

まず、前夜祭パレードで、世界から集まったみなさんの再会を喜ぶ姿にウチナーンチュのちむぐくるの温かさを感じました。国際通りのパレードで、沿道の沖縄県のみなさんが、「めんそーれー」とか、「まっちょーたんどー」のウチナーグチでの歓迎は、心の奥底に染みて、涙がこぼれました。

オープニングセレモニーでのテーマソング「片 手に三線を」を聞いたときには、ウチナーンチュ の平和を望む一体感に感動しました。

次に、シンポジウムでの感想は、ウチナーネットワークに関して、内外に対しさらにアピールすることによって、ウチナーンチュのいちゃりばちょーでーの絆をもっと深く結ぶことが出来ると思います。

ウチナーンチュ大会に参加して、私のルーツが 沖縄であることを実感し、沖縄で私の世界観が広 がりえたことは、うれしい限りです。

世界のウチナーンチュ大会で大切なことは、沖縄のエネルギーとしてウチナーンチュのおおらかさとあたたかさ。そして三線の音色、紅型のあでやかさ、琉舞の奥深さを介して平和な世界と共生の世界を展開し、「未来―ちゅら夢 心にのせて」のメインテーマがさらに発展することを祈念し、実行委員会の皆様に感謝申し上げ、次の第4回世界のウチナーンチュ大会でまた会えることを楽しみに、私のあいさつを終わります。

海外参加者代表 呉屋春美



呉屋春美さん

#### 才 留学生代表挨拶

私たちの祖父母は、いつも日本や沖縄のことを 話してくれていました。そのため私たちは小さい ときから、いつか日本に来て、直接日本と触れ合 いたいと思うようになりました。

来日する前から沖縄の事を私たちに伝え、私の 心に深く印象付けてくれた祖父母たちのおかげで、 私たちはこうして日本の文化に直接触れ合う事が できたのです。

日本の文化との出会いは、祖父母から聞いていた以上に素晴らしいものでしたが、それと同じに文化、環境、社会的、経済的にも大きく異なる日本での生活に初めは戸惑いがあったことも確かです。

しかし、二つの文化を理解できる環境にある私たちにとってはこの利点を生かすほかに有りません。日本と、それぞれの国での考え方は大きく異なるかもしれませんが、お互いの文化や考え方をそれぞれに理解しやすいように説明し、伝えていける大きな橋となるからです。また、その手段として必要不可欠なのは私たち日系人の日本語教育でしょう。特に日系3世以上の日本語の教育に力をいれなければなりません。

また、留学生の方で専門的に研究されている方々は、それをビジネスや教育で世界と沖縄をつなげる、また別の橋となれるでしょう。

私たちのように、直接、日本の素晴らしさとふれあうチャンスがある方が一緒になり協力し合えば、例え環境、文化、社会的に大きく異なっているとしても、沖縄はそれを上手く融合し、さらに発展していけると思います。

そういった意味においても、沖縄は世界の沖縄 になる力を備えています。

今回のこのイベントで終わってしまうのではな く、これをきっかけとし、世界中の日系人が更に 交流を深めていけるようにしたいと強く願います。

最後に交流の大きな出発点となるこのイベントの企画、運営をされている方々、また各国に沖縄の文化、その他の情報などを伝えてくださる各種団体、組織のみなさま、それから、いつも私たち日系人を温かく見守り、むかえてくださる沖縄のみなさまにも厚くお礼を申し上げます。



上間ホセさん

留学生代表 上間ホセ

#### 力 実行委員会会長挨拶

米国ハワイ州、ブラジル国サンビセンテ市、 中国福州市をはじめ、国の内外から多数の来實 のご参加を得まして、第三回世界のウチナーン チュ大会フィナーレを拳行できますことをたい へん嬉しく存じます。

海外そして国内県人会の皆様をはじめ、沖縄を愛して下さるウチナーネットワークの皆さん、皆さんはこの大会を通して、きっと感動の出会いと交流を体験されたことでしょう。そして沖縄の伝統文化、美しい自然と人々の優しさに触れることができたのではないでしょうか。私たち県民も、皆様方からの勇気と忍耐、そして家族愛と素晴らしいバイタリティーを学ぶことができました。

今回の大会に、28か国2地域から4,300名に及ぶ多くの方々が、困難を乗り越えてふるさと沖縄へお越しいただきました。私たちは、この大会で培われた皆様との絆や友情をこれからも大切に育むとともに、沖縄を国際交流・協力の拠点として、また平和の発信地として強くアピールしてまいります。世界の国々における紛争や対立が一日も早く解消されることを願うものであります。

第3回世界のウチナーンチュ大会は、「未来-ちゅら夢 心にのせて」を合い言葉に、新しい世 紀への旅立ちにふさわしい意義ある大会となり ました。

世界のウチナーンチュが一同に集い、垣久平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に発信するとともに、ウチナーネットワークのさらなる発展を誓うことができました。

世界のウチナーンチュ大会は、世代交代が進むにつれてますます重要な役割を担っていくものと思います。母県沖縄は、今後とも皆さん方と手を携えて共に歩んでまいります。

終わりに、御臨席の皆様方のご健勝と今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。あわせて、 大会の成功に向けてご支援を贈りました関係各位並びに大会運営に当たりご協力いただきましたボランティアの皆様方に心から感謝を申し上げ御礼の言葉といたします。

# 2001年11月4日 第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会 会長 沖縄県知事 稲嶺惠一



稲衛実行委員会会長あいさつ

#### キ 大会宣言文

みなさん 憶えていますか この美しい島の歴史と

人々が刻んだ かけがえのない年月を 思い出してください

> なつかしいふるさとの香りと 父と母の愛

優しい祖父母と兄弟達の笑顔を

忘れないでください

家族と共に過ごした日々と 悲しい思い出を乗り越えて

今在ることの幸せを

私たちは知っています

命の尊さと

平和が意味するものを

今、ここに誓います

今日の出会いと感動を胸に 友情を育み

生きる喜びを共に分かち合い ふるさとの青い空の下で

再び あいまみえることを

未来 美ら夢 心にのせて



大会宣言

左から 春山沙樹さん、瀬底エミリーさん、濱口康孝くん、ルシア ナゆみ小沢さん







喜納昌吉&チャンブルーズ

# ク 式次第

欠第	
時間	プログラム
16:30	◆開場
17:30	◆ファイナルコンサート
	①ベートーベン 交響曲第九番「合唱」付
	●第Ⅰ楽章 (Allegro ma non troppo maestoso)
	●第Ⅱ楽章 (Molto vivace)
	●第Ⅲ楽章 (Adagio molto e cantabile)
	●第IV楽章 (Finale)
	指 揮:大友直人
	ソリスト:兼嶋麗子・謝花美也子・喜納賢仁・伊江朝明
	合 唱:県民第九合唱団
	演 奏:琉球交響楽団
	②『だんじゅかりゆし』変奏曲
	演 奏:琉球交響楽団・野村流音楽協会三線隊
18:40	-休憩・転換-
19:00	◆セレモニー プロローグ『片手に三線を』合唱
	アルベルト城間・浦添少年少女合唱団
19:06	· 実行委員会会長挨拶 稲嶺惠一沖縄県知事
19:11	・海外参加者代表挨拶 呉屋 春美 (ブラジル)
19:16	・留学生代表挨拶 上間 ホセ (キューバ)
19:21	・大会宣言 春山 紗樹 (日本語) 瀬底エミリー (英語)
	渡口 康孝 (スヘイン語) ルシアナゆみ小沢 (ホルトサル語)
	※BGM『さとうきび畑』管弦楽五重奏・琉球交響楽団
19:27	・閉会のことば 嘉数昇明沖縄県出納長
19:30	~参加者一旦退場~
	~転換・立食準備~
	~参加者再入場~
20:00	◆大歓談会 ウェルカムミュージック『御前風』野村流音楽協会
	・乾杯の音頭
20:30	◆スペシャルコンサート 喜納 昌吉&チャンブルーズ
21:05	◆エンディング カチャーシー総踊り (演奏チャンブルーズ)
21:10	◆エピローグ 花火打ち揚げ
21:15	◆閉会

V 市町村の取り組み

### 1 事前広報(招聘)活動

大会を成功させるためには、各市町村との協力や 連携が重要であり、このため、市町村の担当課を対 象に下記のとおり説明会を開催し、意見や情報の交 換等相互の協力体制の構築が図られた。

市町村からは、参加者情報(出身市町村、氏名、 滞在期間等)について実行委員会事務局から早期に 市町村に伝達するよう要望があった。

### 第1回市町村説明会

日時: 平成12年9月19日 (火)

13:30~15:00

場所: 県庁舎5F 第1·第2会議室

内容:

ア 大会の概要について

イ 市町村での関連事業の展開について

ウ 意見交換

### 第2回市町村説明会

日時:平成13年5月22日(火)

13:30~15:00

場所:沖縄ハーバービューホテル

内容:

ア 広報宣伝ビデオの上映

イ これまでの取り組みと今後の計画について

ウ 大会イベントと市町村のイベントについて

エ 大会招待者と参加申し込み状況について

オ 協力依頼事項について

・市町村の広報媒体の活用によるウチナーンチュ 大会の広報

- ・海外姉妹提携先首長との連絡調整の御協力
- ・市町村首長の「大会前夜祭パレード」の参加
- ・市町村における記念植樹の実施方
- ・「ウチナーンチュ交流祭」への民俗芸能の参加
- ・「世界のウチナーンチュ 歴史と未来展」への 移民歴史資料の提供
- ・市町村イベントの開催時期について
- ・市町村の催事、行事におけるウチナーンチュ大会のアピールについて



金武・並里大綱引き



豊見城村記念植樹



那覇市いちゃりばチョーデー交流パーティ

# 2 歓迎事業一覧

	市町村	イベント名称	実施日	場所	出席者	イベントの内容	招待者/参加者からの声
1	那糊市	イチャリバチョーデー交流パーティ	11.2 (金)	ホテルザ・ナハテラス	招待:130名 地元:120名	<ul><li>記念Tシャツ配布</li><li>グランドゴルフ用具一式の贈呈式 (グランドゴルフ協会提供)</li></ul>	<ul><li>・ 前回も参加したが、旧知の人と再会できるのがとてもいい。</li><li>・ エイサーの演舞で元気が出た。</li></ul>
	77)2 46/3 1 [3	ふるさとナーファみぐい	11.5 (月)	那覇市内	招待:53名 地元:12名	・ 那覇市の都市計画地と文化遺産を巡る バスツアー (記念品配布)	・参加して本当に楽しかった。 ・戦後目覚しい復興をとげた那覇を目の当たりにして 感激した。
2	石川市	石川市出身者歓迎会	10.30 (火)	石川市保健相談センター	招待:24名 地元:250名	<ul><li>記念植樹</li><li>記念品贈呈</li><li>伝統芸能披露</li></ul>	・ 心温まるおもてなしに感謝している。 また5年後にも必ず参加したい。
3	具志川市	世界のぐしちゃーんちゅ歓迎の夕べ	11.5 (月)	キャッスルハイランダー	招待:118名 地元:215名	<ul><li>・ 立食式の歓迎パーティ</li><li>・ 記念品贈呈(びいぐ染織テーブルクロス &amp;コースターセット)</li><li>・ 記念写真集(具志川市の海外移民)</li></ul>	・是非大会を継続して欲しい。
4	宜野湾市	世界のジノーンチュ歓迎の夕べ	11.3 (土)	宜野湾市農協会館	招待:60名 地元:160名	<ul> <li>・ 宜野湾市の写真展を会場で開催、 南米三線グループ「琉球サブカイ」の演奏、 琉球伝統芸能の披露</li> <li>・ 記念品贈呈</li> </ul>	<ul><li>研修生の受入れ事業について要望があった。</li><li>平成14年7月市政府40周年にも参加したいとの声もあり、全体として大変喜ばれた。</li></ul>
5	石垣市	世界のやいまびぃとぅ交流会	11.4	ホテルミヤヒラ	招待:35名 地元:165名	・ 石垣市民パレードに参加 (小浜安吉夫妻かじまやーパレード) ・ 石垣島祭り (新栄公園)	・たいへん良かった、次回は会議も開催して欲しい。
6	浦添市	旅派市出身世界のウチナーンチュ 歓迎会(観光案内)	11.2 (金)	浦添市社会福祉センター、 南部観光各所	(観光案内) 招待:45名 地元:5名 (歓迎会) 招待:42名 地元:80名	<ul><li>・観光案内(首里城・平和の礎・市美術館等)</li><li>・歓迎会(記念品贈呈・琉球舞踊鑑賞等)</li></ul>	<ul> <li>沖縄の発展ぶりには驚いた。</li> <li>業晴らしい歓迎会に感謝します。</li> <li>カチャーシーで世界のウチナーンチュと心を 一つにした。</li> </ul>
7	名護市	① 名渡市内视察観光 ② 歓迎会	11.2 (金)	① 名護市内公共施設等 ② 名護市出雲殿	招待:133名 地元:209名	<ul> <li>市内視察観光(那期市、沖縄市への送迎含む)</li> <li>各国別の記念植樹</li> <li>歓迎会-会食、名護市の伝統芸能披露、各国紹介、記念撮影、海外参加者によるアトラクション</li> <li>記念品ー名護記念誌</li> </ul>	<ul> <li>ひんぶんガジュマルを見ると懐かしい気持ちになり、 名護に帰ってきたことを実感できる。</li> <li>名護市街地の発展ぶりに驚いた。</li> <li>観光では名護市内をできるだけ多く回りたかった。</li> </ul>
8	糸満市	第3回世界のイチマンチュ歓迎の夕べ	11.5 (月)	NBCサムシングフォー 西崎	招待:90名 地元:250名	<ul><li>市内観光</li><li>「ガマ月桃の花」映写会</li><li>歓迎の夕べ</li></ul>	<ul><li>・沖縄戦を描いた「ガマ」の映写会は、好かったとの 声があった。</li></ul>
9	沖縄市	① ふるさとの芸能鑑賞 ② 歓迎レセプション	11.5 (月)	① 沖縄市民小劇場 あしびなー ② 沖縄市民会館 中ホール	①招待:80名 地元:181名 ②招待:101名 地元:351名	の久地の市民会代表の紹介・民間大使紹介、	<ul><li>(1) 終演後、観客からのスタンディングオペーションがあり、故郷の 素晴らしい文化に触れて、大変感激したとの感想が多くあった。</li><li>(2) ロビーでのぶくぶく茶席やレセブションの料理等がとても好評で、 温かい雰囲気のレセブションだったと評判だった。</li></ul>
10	国项村	村出身者歡迎会	11.5 (月)	国頭村農民研修ホール	招待:30名 地元:125名	・国頭・那期間の送迎 ・村四役との昼食会、村内視察、歓迎会、 記念品贈量、表彰、伝統芸能披露	<ul><li>・主会場(宜野湾・那覇)から遠いので参加が無理だと思ったが、送迎バスが出たので参加でき、大変好かった。 なつかしい友人や親戚などに会えた。</li></ul>

	市町村	イベント名称	実施日	場所	出席者	イベントの内容	招待者/参加者からの声
11	大宜味村	村出身者歓迎交流会	11.3 (土)	大宜味村農村環境改善 センター	招待:32名 地元:170名	<ul><li>・本人と親戚関係者の紹介</li><li>・配念品贈呈(芭蕉布製品)</li><li>・郷土料理でもてなし</li><li>・村内伝統芸能の披露</li></ul>	招待者/大変感激し、感謝している。可能ならばまた 来たい、故郷は素晴らしい。 参加者/招待者の氏名・人数などをもっと早めに知らせて 欲しい。もっと別の歓迎方法を考えても良いのでは。
12	今帰仁村	世界のナキジンチュ歓迎会	11.3 (土)	今帰仁村商工会ホール	招待:39名 地元:105名	・ 今帰仁村文化祭鑑賞 ・ 記念品贈呈 (夫婦シーサー、今帰仁村 観光ビデオ)	・ 参加者からお礼の手紙が届いている (古里の温かいもてなしに感謝、5年後も是非参加したい)
13	本部町	第3回世界のムトゥブンチュ大会	11.3 (土)	B&Gホテル マリンピアザオキナワ	招待:57名 地元:200名	紀念品贈呈・各国自己紹介・余興	<ul><li>・思いがけず懐かしい人に会えて良かった。</li><li>来られなかった人に写真やお土産をあげたら、</li><li>涙を流して喜ばれた。</li><li>・ 親戚を探したいと役場に3組の問い合わせがあった。</li></ul>
14	恩納村	第3回世界のウチナーンチュ大会 歓迎交流会	11.2 (月)	リザンシーパーク ホテル谷茶ペイ	招待:19名 地元:211名	村内视察、記念撮影、記念植樹、歓迎交流会、 記念品贈呈	-
15	宜野座村	第3回世界のギノザンチュの集い	11.5 (金)	村国際交流センター	招待:42名 地元:450名	・ 各字の伝統芸能、子ども達によるエイサー、獅子舞 ・ 記念品贈呈	-
16	金武町	第3回世界のウチナーンチュ大会	10月27日(土) ~11月5日 (月)		招待:180名 地元:9,800名 その他:550名	當山久三翁顕彰式	<ul> <li>ウチナーンチュ大会開催に時期を合わせて実施した 大綱引きに感激した。</li> <li>シンポジウムにおいて今後の国際交流の方向性が 語られ有意義であった。</li> <li>シマヌチュの集いなどで町民との交流ができた。</li> <li>会場への送迎バスの手配に感謝する。</li> </ul>
17	与那城町	第3回世界のウチナーンチュ大会 郷里訪問者歓迎祝賀会	11.6 (火)	与那城町立中央公民館 ホール	招待:31名 地元:110名	<ul><li>器楽演奏、空手演武、琉舞、 屋慶名エイサー</li><li>記念品贈呈</li></ul>	<ul> <li>沖縄の変わりようには驚くばかり。・日本語はしゃべれないが 心はウチナーンチュ。屋優名エイサーをハワイの人たちに見せたい。</li> <li>市町村イベントを期間前にした方が盛り上がるのでは。</li> </ul>
18	勝連町	故郷訪問者 歓迎の夕べ	11.1 (木)	勝連町シピックセンター ホール	招待:34名 地元:300名	・町文化協会による幕開け、琉舞 ・招待者紹介、記念品贈呈、 肝高パンドによる発表	<ul><li>たくさんの芸能・町民のみなさんの温かい歓迎に感激した。</li></ul>
19	読谷村	世界の読谷山人歓迎レセプション	11.3 (土)	<ul><li>・ 読谷村文化センター</li><li>・ よみたんまつり会場</li></ul>	招待:100名 地元:200名	<ul><li>沖縄の家庭料理を楽しみながら、地元 からは座喜味棒の演武、先方からは、 フラダンス、タヒチアンダンスが披露された。</li><li>第27回よみたんまつりに参加、出演</li></ul>	・沖縄の家庭料理でのもてなしが好評であった。 ソーキ汁やソーミンチャンブルーなどを囲んで 終始和やかに歓談することができ、読谷に直に触れた。
20	嘉手納町	世界のカデナーンチュ歓迎の夕べ	11.2 (金)	スーパーレストラン (ネーブルカデナ3F)	招待:19名 地元:215名	-	・参加者からお礼の手紙が届いた (大変良かった、感動しました等)
21	北谷町	世界のチャタンチュ歓迎事業	11.3 (土)	<ul><li>・ 北谷町役場</li><li>・ 美浜カラハーイ</li></ul>	招待:30名 地元:30名	<ul><li>・海外移住者子弟研修生受入れ事業の説明 (H14年より開始)</li><li>・町内視察</li><li>・歓迎会(りんけんパンド参加)</li></ul>	・本町に来るのが初めての方が多く、 「ふるさと北谷町のことを良く知ることができた」 との声が聞かれ、町章や文化財等について熱心な 質問があった。
22	北中城村	海外同胞歓迎事業	11.5 (月)	<ul><li>・ 若松公園</li><li>・ 沖縄リージョンクラブ</li></ul>	招待:40名 地元:167名	・ 中村家、中城城跡巡見 ・ グランドゴルフ大会 ・ 海外同胞歓迎のタベ	・ 初めてグランドゴルフをやって楽しかった。
23	中城村	第3回世界のウチナーンチュ大会・ ナカグスクンチュ交流会	11.5 (月)	中城村吉の浦会館	招待:52名 地元:148名	・村内視察の後、歓迎交流会を開催し、 参加者には「琉球陶器」を記念品として贈呈した。 村文化協会や招待者からのアトラクション被蔣があった。	<ul><li>・ 歓迎会を催してもらい大変ありがとうございました。</li><li>・ 交流会のビデオ撮影をしてほしかった。</li></ul>

	市町村	イベント名称	実施日	場所	出席者	イベントの内容	招待者/参加者からの声
24	西原町	第3回世界のニシハランチュの集い	11.3 (土)	西原町民陸上競技場	招待:110名 地元:1,000名		=
25	豊見城村	第3回世界のトミグスクンチュ 歓迎会	11.2 (金)	豊見城村立中央公民館 中ホール	招待:21名 地元:200名	・ 記念植樹 (村木 黒木2本) ・ 歓迎会-ふるさと特派員認証式 ・ 記念品贈呈 (村勢要覧、ウージ染め、写真帳) ・ 記念撮影	<ul> <li>たくさんの人に歓迎してもらって本当に嬉しい、楽しい。</li> <li>沖縄の変わりようにびっくりした。</li> <li>村が市制施行することを聞いて嬉しい。</li> <li>同時テロの影響が心配で、沖縄を盛り上げるために来た。</li> <li>海外に移住し、沖縄県の発展に寄与した皆様を歓迎できて良かった。</li> </ul>
26		① グランドゴルフ交流大会 ② ゲートボール交流大会 ③ 歓迎レセブション ④ ヤングサミットinKOCHINDA	10.31 (水)	東風平町農村環境 改造センター、 東風平町陸上競技場		③ 記念品贈呈 (シーサーのオブジェ) ④ 海外の3世~5世のヤング世代が、 東風平町の青年らと意見交換をしながら 楽しく交流パーティを行った。	・交流会では、ふるさとの味「沖縄そば」に人気が集中し、 会場のあちこちで再会を喜び合う姿がみられた。
		① 棒術フェスティバル ② 東風平町総合文化祭	11.3 (土)	東風平町営体育館 東風平町農村環境 改善センター	(招待:地元) ① 4名.1700名 ② 26名.500名	-	-
27	具志頭村	世界のぐしちゃんちゅ歓迎の夕べ	11.6 (火)	具志頭村農村環境 改造センター	招待:13名 地元:124名	<ul><li>記念品贈呈。汗水節保存会による踊り、 琉球民謡や琉球舞踊などの余興。</li></ul>	<ul><li>ウチナーンチュ大会は、海外にいる方にとって沖縄に 帰る一つの口実になる。模合をして旅費の積立をしている。 ずっと続けてほしい。</li></ul>
28	玉城村	たまぐすく祭り (世界のタマグスクンチュ歓迎レセブション)	11.2 (金)	グスクロード公園	招待:57名 地元:200名	・ 歓迎レセプション、記念撮影、 記念品贈呈、各字伝統芸能の披露	・ このレセブションを通して世界のタマグスクンチュが一堂に会し、 隣国のボリビア、アルゼンチン、ベルー等と交流ができた。 また、多くの知人と再会し、相互の融和と連帯を深めることが できてよかった、等の意見があった。これを機会に もっと国際交流の強化を図ってもらいたいとの要望があった。
29	知念村	世界のウチナーンチュ村出身者 「歓迎のタベ」	11.5 (月)	ホテルサンライズ知念	招待:3名 地元:69名	・ 記念品贈呈、自己紹介、アトラクション	-
30	佐敷町	世界のサシキンチュ歓迎の夕べ	11.4	佐敷町文化センター シュガーホール	招待:13名 地元:120名	<ul><li>佐敷町文化協会設立10周年記念公演への招待</li><li>交流会(歓迎の夕べ)</li><li>記念品贈呈(八重山ミンサー織マット)</li></ul>	<ul><li>生まれ故郷で、歓迎会を催していただき感激でいっぱいです、 など大変喜ばれた。</li></ul>
31	与那原町	ユナバルンチュ歓迎の夕べ	11.2 (金)	与那原町社会福祉センター	招待:37名 地元:250名	琉球舞踊披露     記念品贈呈(シーサー・与悪原いま昔写真集・与悪原祭り エシャツ・大綱引記念テレカ・町歌テーブ・記念撮影写真)	<ul><li>これからも継続して欲しい</li><li>2.3世の交流を推進して欲しい</li><li>イベント事業を調整して欲しい</li></ul>
32	大里村	第3回世界のウフザトンチュ ふるさと訪問団歓迎会	11.3 (土)	村農村環境改善センター	招待:50名 地元:130名	<ul><li>・ 歓迎会</li><li>・ 記念品贈量</li><li>・ 第6回大里まつりへの参加</li></ul>	-
33	南風原町	世界の南風原人歓迎会	11.3 (土)	南風原文化センター	招待:38名 地元:72名	・ 琉球舞踊、琉球民謡 ・ 空手(型) ・ 記念品贈呈	<ul> <li>数十年ぶりに会ったり写真を見たりして、 展示会や歓迎会が大変有意義だったとの感想があった。</li> </ul>
34	竹宮町	歓迎夕食想親会	11.1 (木)	那蜀市内 料亭	招待:3名 地元郷友:50名	竹富町出身の国内外の大会参加者及び郷友が集い、 意見交換、懇親会を開催した。	<ul> <li>今回は米国で発生した同時テロ事件で参加を取りやめた者もいたが、 予想以上の参加に感激した。次回も参加したい。</li> <li>これからは、インターネット技術を駆使し、いつでも身近な情報交換が可能になるだろう。</li> </ul>

VI 全県民的拡がりを見せた事業展開

### 1 広報事業

### (1) 一般広報

一般広報事業では、大会シンボルマーク、キャッチフレーズの一般公募により、県民の参加意識 を高めた。

ア シンボルマーク、キャッチフレーズの公募

世界のウチナーンチュ大会の広報啓発活動を 展開するにあたり、「県民参加型ウチナーンチュ大会」を目指す観点から、シンボルマーク、 キャッチフレーズを一般公募した。

### (ア) シンボルマークの公募・選定

• 募集期間

平成12年11月1日~ 平成12年11月24日

·応募作品

214点

·入選作品決定 平成12年12月15日

• 優秀賞作品

宜野湾市 崎山百合子(22歳)



#### (イ) キャッチフレーズの公募・選定

募集期間

平成12年11月1日~ 平成12年11月24日

・応募総数

175点

·入選作品決定 平成12年12月15日

·優秀賞作品

「未来ーちゅら夢 心にのせて」 宜野湾市 平安勝子(43歳)

#### イ 残暦盤の設置

大会まで一年を控えた11月1日、県民及び 諸機関へ開催の周知を図るため、電光式残暦盤 を県庁一階の県民ホールに設置した。

• 日 時

平成12年11月1日 (水)

・場 所

県庁1階 県民ホール

#### ウ インターネットホームページの展開

インターネットホームページを開設し、国内 外へウチナーンチュ大会開催に向けての取組み 状況や、電子メールでの問合せに応じ、概ね月 1~2回の更新を行い最新情報の提供につとめた。 ・期 間 平成12年8月~

平成14年3月31日

・内容

大会開催の意義、実行委員会の組織図、イベント最新情報、宿泊施設の案内、大会開催報告他

· 言語 日本語、英語

・アクセス件数 約3万6千件

#### エ 電光広報塔の利用

広報機関:平成13年4月1日~10月31日 (広報内容)

流 動:「第3回世界のウチナーンチュ大会」を 成功させよう

静 止:未来・ちゅら夢 心にのせて

交 互:十一月一日~四日開催!世界のウチナ ーンチュ大会

#### オ 各種広報ツールの作成

大会の概要、開催の意義、関係団体の取組み 状況など大意会に関する情報を総合的に紹介す る「大会通信」をはじめ、各種ポスター、パン フレット等の印刷物を作成し、諸関係機関へ配 布した。

#### (ア) 主な配布先

実行委員会、県内各市町村、海外県人会、 民間大使、本土県人会、後援・協賛団体、 県内マスコミ、国の出先機関、郵便局、銀行、 国際交流関係団体、寄付団体、他

# (2) 報道機関の協力

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアを活用して広報活動を行った。

### ア テレビ

種別	番組名	放送日/期間・回数・放送局
県広報番組 「うまんちゅひ ろば」	○メインコーナー ① 100日前イベント ② 大会報告	・平成13年8月18・19・20日 ・平成13年11月17・18・19日 沖縄テレビ、琉球放送、琉球朝日放送
	〇サブコーナー 「それ行け!武三」 大会に向けた地域の取組 みを紹介	平成13年8月18日~11月19日 (計11回) 第1回『ジュニアスタディーツアー』 第2回『カナダ沖縄アイスホッケー親善交流会』 第3回『琉球國祭り太鼓』 第4回『フィリピン文化協会バンブーダンス』 第5回『西原町ゲートボール連合会』 第6回『沖縄市ユニバーサル方言講座』 第7回『少林流挙真館』 第8回『東風平町 とうむしぬシーシ』 第9回『東風平町総合文化祭 琉球舞踊』 第10回『全島旗頭フェスティバル』 第11回『沖縄伝統芸能祭 新・長者の大主』
	○インフォメーションコー ナー	平成13年10月27·28·29日 イベントスケジュールを文字及びナレーションで紹介
放送提供	ンチュ大会 ②新春特別番組「世界ウチ	平成13年11月1日/17:00~18:00 開会式の模様、イベントブースからの中継 平成14年1月2日/14:00~15:30/ 〈世界のウチナーンチュ大会〉に参加者した県系人によるカ ラオケ大会 (琉球放送)
	大会・新世紀の絆	平成13年10月26日/14:05~15:00 沖縄テレビ・琉球放送社・ラジオ沖縄によるメディアミック ス企画-稲嶺惠一氏大会実行委員会会長、牧志泰三 WUB 沖 縄会長が出席し、今大会の意義や、大会に向けた幅広い県民 の協力を呼びかけた。 ・平成13年11月1日/14:05~15:00 ゲストを交えながら、会場との中継 (沖縄テレビ)
スポットCM	大会PRスポット 15秒	①平成13年4月15日~4月24日 沖縄テレビ 21回 ・平成13年4月25日~5月4日 琉球放送 21回 ・平成13年5月5日~5月14日 琉球朝日放送 21回 ②平成13年10月12日~10月31日 沖縄テレビ 30回 琉球放送 30回 琉球放送 38回

# イ ラジオ

種別	番組名	放送時間	放送日/期間・回数・放送局
県広報番組	ラジオ県民室 ※BGMに大会テーマソン グを使用	20秒	平成13年10月8日~11月3日 (計9回) 平成13年10月15日~11月4日
放送提供	①土曜スペシャル ②第3回世界のウチナーンチュ大会開会式 ③フィナーレ	60分 (15:00-16:00) 60分 (15:00-16:00) 120分 (13:00-15:00) 90分 (19:30-21:00)	<ul> <li>・平成13年10月27日 大会の開幕前に事務局、ボランティアに聞く</li> <li>・平成13年11月1日 大会会場の模様を中継で結び紹介</li> <li>・平成13年11月1日 会場から生中継</li> <li>・平成13年11月4日 フィナーレの模様を生中継</li> <li>(ラジオ沖縄)</li> </ul>
	①どっこいしょ!! ②世界のウチナーンチュ・ カラオケ大会	180分 (12:00-15:00) 60分 (9:00-10:00)	<ul> <li>・平成13年11月1日(木)開会式の様子を伝える(特番仕立)</li> <li>・平成14年1月1日(火)大会に参加された皆さんの自慢のノドを披露。</li> <li>(RBCラジオ)</li> </ul>
	第3回世界のウチナーンチュ 大会スペシャル	①60分 (17:30-18:30)	・平成13年9月30日~10月28日 (毎週日曜日) 県庁や各市町村を国際電 話で結び大会のプロモーションを放送
	※各市町村の歓迎行事の	②60分 (18:15-18:45) ※すべてハワイ 時間	・平成13年10月31日~11月7日 沖縄より生中継/前夜祭からフィナーレ まで各イベントを沖縄よりハワイへ中継 レポート放送 KZOO放送(ハワイ)
スポットCM	大会PRスポット	20秒	①平成13年4月15日~4月24日 琉球放送… 21本 平成13年4月25日~5月4日 ラジオ沖縄… 21本 平成13年5月5日~5月14日 エフエム沖縄… 21本 ②平成13年10月12日~10月31日 ラジオ沖縄 60本 琉球放送 55本 エフエム沖縄 55本

### ウ 新聞/①広告出稿

種 別	内容/数量	掲載日/掲載紙
広告掲載	・200日前イベント特集	平成13年4月14日 琉球新報
	・20日前イベント告知 モノクロ	平成13年10月12日(金)
	協賛含む15段	沖縄タイムス、琉球新報
	・大会直前告知 フルカラー 協賛含む15段	平成13年10月25日(木)琉球新報 平成13年10月30日(火)沖縄タイムス
県政プラザ	・大会スケジュール等に関する全面広告	平成13年10月31日 (水) 沖縄タイムス、琉球新報、八重山毎日新聞、 宮古毎日新聞
海外広報誌	大会PR及びイベント出演、出店の募集	ハワイ『パシフィックプレス』 ブラジル『サンパウロ新聞』 アルゼンチン『らぷらた報知』 ペルー『ペルー新聞』
その他	(掲載紙) 工連ニュース びあぶれいく (オリオンビール) 九州マーケティング・アイズ 都道府県展望	(掲載日) 平成13年4月号 平成13年9月号 平成13年10月号 平成13年10月号

# ②広告出稿

掲載日	タイトル	スペース
琉球新報		
4月14日	特集・ウチナーンチュ大会まで200日	30段/フルカラー
5月1日	特集・ウチナーンチュ大会まであと半年	"
6月1日	大会5カ月前特集	"
7月1日	大会4カ月前特集	"
8月1日	大会 3 カ月前特集	"
9月1日	大会 2 カ月前特集	"
10月1日	大会1カ月前特集	"
10月25日	別刷り特集・ウチナーンチュ大会開幕まで1週間	12P/フルカラー
沖縄タイムス		
6月4日	あと150日、準備着々	30段/フルカラー
7月5日	南米キャラバン4カ国訪問	"
7月24日	本番まで100日	"
9月11日	開催まであと50日 「ふるさとみつめる県系人の熱い視線」	"
10月2日	本番まで1カ月/集え同胞、古里の地	"
10月30日	別刷り特集・世界のウチナーンチュ大会来月1日開幕	12P/フルカラー

エ 県広報誌「美ら島沖縄」

〇大会キャッチフレーズ「未来-ちゅら夢 心にのせて」と「成功させよう!第3回世界のウチナーチュ

大会」を各ページの欄外に掲載 期間:平成13年2月~10月号

○大会シンボルマークを表紙に掲載

期間:平成13年5月~10月号

○「大会事務局つうしん」コーナーを設け、大会情報を提供

期間:平成13年4月~10月号

### 2 記念品

#### (1) 大会参加記念品

第3回世界のウチナーンチュ大会への参加記念品として、県内、国内及び海外からの参加者に対し、 実行委員会より以下のものを贈呈した。

また、海外VIPへは紅型のタペストリーや首里織りのネクタイ、特別招待者の海外県人会長及び民間大使へは首里織りのテーブルセンターが贈られた。

記念品の選定にあたっては、県の工業・工芸振 興や観光、国際交流の分野との意見交換を行い、 次の4つの点に配慮し選定が行われた。

- ・県産品の有効活用
- 大会のオリジナル性
- 大きさや重さへの配慮
- ・県内業者の平等な活用

#### ※写真p.13

商品	規格	対象者	記念品の特徴		
琉球漆器 (飾り盆)	8 4	海外参加者	沖縄の伝統工芸品の一つである琉球漆器。 赤、黒の2色の漆に、赤花、ゆうな、首里城、守礼 の門、獅子、進貢船等の沖縄らしい絵柄を描いた飾 り盆。		
ぬちマース	2 5 0 %	国内・県内参加者	世界で初めての常温瞬間結晶製塩法により100% 沖縄の海水のみから生成された自然海塩。		
紅型手提げ袋	39×29×12	参加者全員	第3回大会オリジナルの手提げ袋。沖縄らしい紅型 の模様で、赤、青、白、黄色の4色を作製。		

#### (2) 海外県人会感謝状贈呈記念品

第3回世界のウチナーンチュ大会を記念して、海外県人会へこれまでの活動に対する感謝状と記念品の 贈呈を行った。

### ※写真p.13

商品	対象者	記念品の特徴
琉球ガラス (盾)	海外県人会	沖縄の誇る工芸品の一つである琉球ガラスで作った記念盾。今回の作品は赤が輝く太陽、金箔が輝く朝日をイメージして作られた作品。

### (3) 大会記念表彰状贈呈記念品

今回初めて行われた大会記念表彰において、表彰状と記念品の贈呈が行われた。

#### ※写真p.13

商品	規格	対象者	記念品の特徴	
琉球漆器 (飾り盆)	尺3寸	大会記念表彰の 受賞者	沖縄の伝統工芸品の一つである琉球漆器。 その伝統の技法に基づき、豚の血を用いた鮮明な朱 色の漆の盆に、鮮やかな金竜が描かれた作品。	

### 3 寄付金、協賛金活動

#### (1) 民間寄付金

大会イベントの充実を図るため、県や市町村からの拠出金に加えて、一般からの募金を仰ぐこととし、平成13年1月、県内経済団体等の代表者に募金推進委員になって頂き、募金活動を推進した。

募金活動は、平成12年には九州・沖縄サミットによる募金活動があったため、翌年の平成13年1月より開始された。

実行委員会は募金の目標額を5千万円に設定したところ、県内外の各種業界、団体、個人の方々から、総額29,904,647円の寄付が寄せらた。

#### (2) 企業協賛金

第3回世界のウチナーンチュ大会では、広報宣 伝及びイベント経費の充実を図り、官民一体なっ て大会へ取り組むことを目的に、県内のあらゆる 企業に協賛の呼びかけを行った。

また、協賛活動にあたっては、本大会の広報宣 伝活動を受託した「第3回世界のウチナーンチュ 大会共同企業体」と実行委員会とが連携して取り 組んだ。その結果、県内130の企業より総額20, 501,000円の協賛金が集まり、活発な広報宣 伝活動を展開することができた。

#### 4 物品提供

提供された物品(下記物品提供一覧)は以下の とおり活用され、大会参加者の好評を得た。

ア 沖縄県酒造組合連合会より提供された大会 ロゴマーク入り「ミニチュアボトルセット(5本入り)」は、大会参加者全員に、また沖縄テレビ(株) からの写真集「残照 心のふるさと」、ジミー(株) からのクッキー、沖縄県旅行業組合からの絵葉書「沖縄の世界遺産」は、海外参加者へのお土産として 記念品とともに配布された。

イ 沖縄県トヨタグループからは特製「かりゆしウェア」100着が提供され、記念植樹参加者の各国県人会代表への記念品として、また沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合からは新作の「かりゆしウェア」が100着提供され、大会実行委員会関係者への大会着用着として使用された。

ウ 料亭 松乃下より提供されたサーターアン ダギー600個は、大会会場での湯茶接待の席にて 参加者にふるまわれた。

エ 沖縄セルラー電話(株)からは、大会期間中の携帯電話使用料無料サービス及び携帯電話機本体62機が提供され、大会運営スタッフにより利用された。

#### 物品提供一覧表

会社・団体名	提供物品	提供数量	
沖縄テレビ(株)	新嘉喜 祐司氏 写真集 「 残照 心のふるさと 」	3, 000 冊	
ジミー (株)	クッキー	3,600箱	
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合	かりゆしウェア	100着	
沖縄県酒造組合連合会	泡盛ミニチュアボトル(5本入り)	4,500セット	
沖縄県旅行業組合	「沖縄の世界遺産」 絵葉書 10枚入り	3,500部	
トヨタグループ	かりゆしウェア	100着	
料亭 松乃下	サーターアンダギー	600個	
沖縄セルラー電話(株)	携帯電話62機及び大会期間中通話	料無料サービス	